

明日をひらく都市

OPEN X PIONEER

YOKOHAMA

令和 8 年度

予算概要

市民局

目 次

ページ

I 令和8年度 市民局予算案	1
II 市民局主要事業	6
III 令和8年度 市民局予算案 総括表	19
IV 事業別内訳	
【3款1項 市民行政費】	
1 市民総務費 (3款1項1目)	20
2 人権施策推進費 (3款1項2目)	22
3 市民協働推進費 (3款1項3目)	23
【3款2項 地域行政費】	
1 個性ある区づくり推進費 (3款2項1目)	26
2 戸籍住民登録費 (3款2項2目)	27
3 地域施設費 (3款2項3目)	29
V 参考資料	
令和8年度 自主企画事業費 区別一覧	30

I 令和8年度 市民局予算案

区 分	令和8年度	令和7年度	前年度比
一般会計	457 億 2,030 万円	494 億 935 万円	▲36 億 8,905 万円 (約▲7.5%)

※1万円未満は四捨五入としているため、差引等が一致しない場合があります。

1 予算編成の考え方

少子高齢化やライフスタイルの多様化、急速なデジタル化など、市民生活は大きく変化しています。また、防犯意識の高まりや身近な地域における担い手不足の顕在化など課題は複雑化しています。

このような中で、市民一人ひとりの安心・安全な暮らしや地域コミュニティの活性化にこれまで以上に取り組んでいくことが求められています。

令和8年度の市民局予算においては、こうした時代の変化への対応、「横浜市中期計画 2026－2029(素案)(以下、「新たな中期計画」)」との連動を意識しながら、これまで取り組んできた3つの重点取組を強化します。また、市民局主要事業である6つの施策を効果的に連動させながら、市民の皆様が取組の効果を実感いただけるよう、必要な予算を編成しました。

※【重点1】・【重点2】は「新たな中期計画」の4年間で重点的に進める取組に関連し、

【重点3】は市政の基礎となるサービスに係るものです。

～3つの重点取組～

【重点1】 安心を実感できる・安全を届ける

“スマート防犯シティ横浜”の実現

【重点2】 地域コミュニティ活性化と地域支援の強化

【重点3】 「行かない・待たない・書かない・回らない」

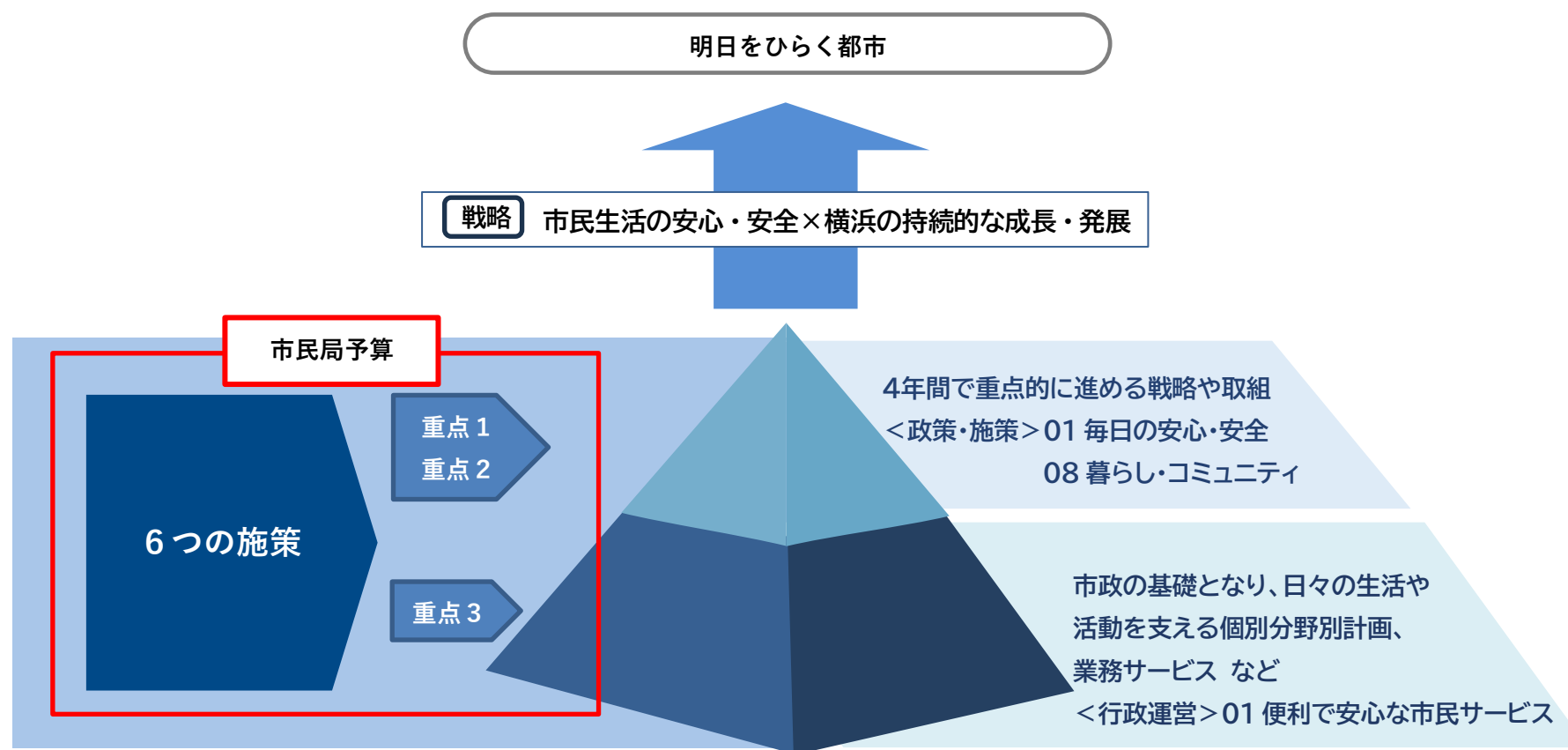
区役所窓口の実現

6つの施策(市民局主要事業)

- 1 地域防犯力の向上
- 2 地域コミュニティの活性化
- 3 市民の皆様の利便性向上に向けた窓口サービスの充実
- 4 施設の整備と維持管理
- 5 人権を尊重した市政運営
- 6 市民の皆様の声の施策反映と開かれた市政の推進

◇コラム1◇「新たな中期計画」

令和7年12月に「新たな中期計画」の素案を公表しました。政策・施策の体系のもと、「4年間で重点的に進める戦略や取組」と「市政の基礎となり、日々の生活や活動を支える個別分野別計画の事業や業務サービス等」を連動させ、市民生活の向上を目指すこととしています。



※「新たな中期計画」策定スケジュール
令和8年1月5日～2月27日 パブリックコメント
令和8年5月頃 原案の策定(策定した原案は議案として提出予定)

2 令和8年度 3つの重点取組

【重点1】安心を実感できる・安全を届ける“スマート防犯シティ横浜”の実現

特殊詐欺やSNSを起因とした詐欺など、犯罪手口は多様化・巧妙化しており、市民の不安感が高まる要因となっています。

「誰もが安心して暮らせるまち」を実現するためには、防犯環境を向上させるとともに、地域全体、また、一人ひとりの防犯意識も重要であることから、「横浜市防犯のまちづくり推進条例(仮称)」の制定、条例に基づく新たなプランの策定を進め、防犯対策を体系的に推進します。

令和8年度予算のポイント

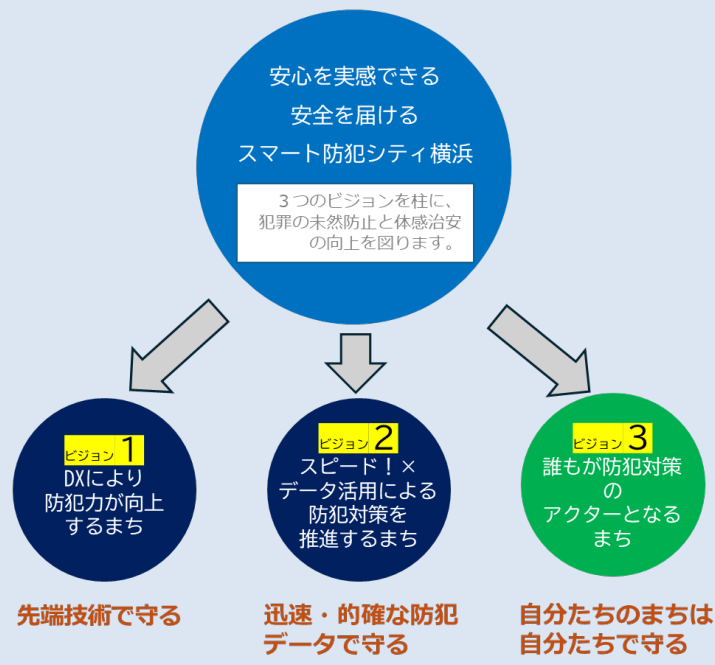
GISマップを活用した効率的な「暗がりの解消」により、安心を実感できる環境を整えます

センサーや防犯カメラ機能を搭載するスマート防犯灯を活用した「見守り強化」の仕組みを検討するためのモデル事業を行います

よこはま安心ボックス(宅配ボックス)設置を支援し、安心して荷物を受け取れる環境づくりを進めます

※主な取組の詳細は「Ⅱ 市民局主要事業 1 地域防犯力の向上(6ページ)」に掲載

スマート防犯シティを実現する3つのビジョン



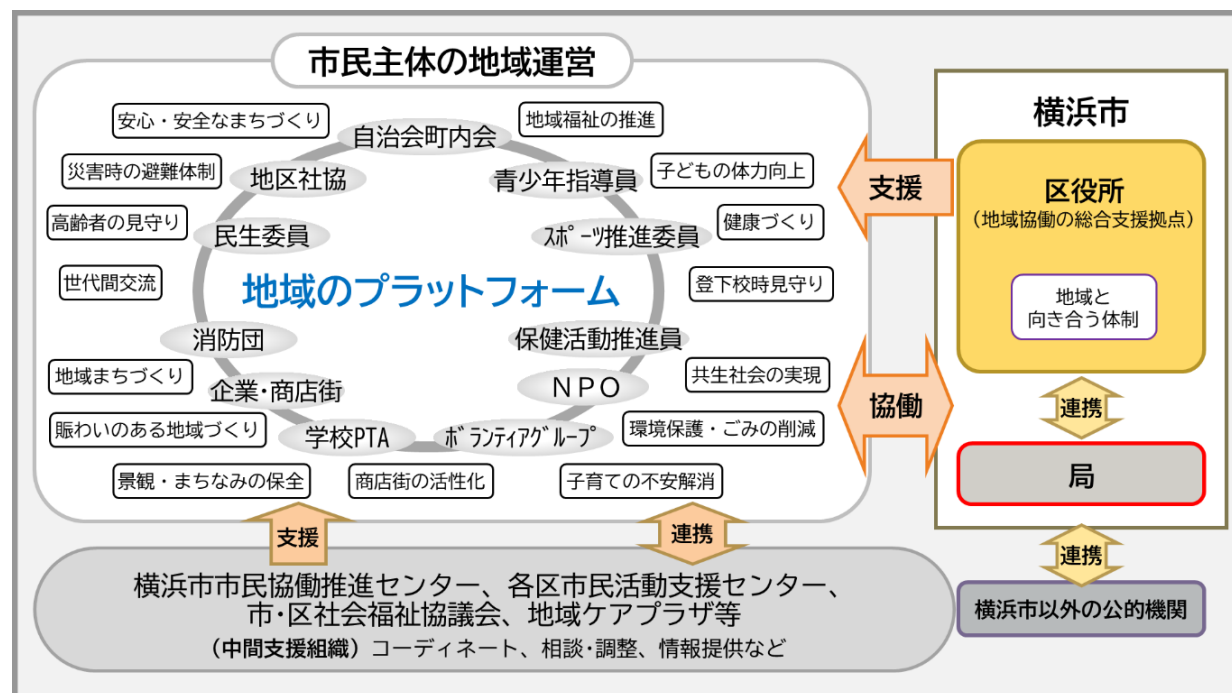
【「横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)素案」抜粋】

【重点2】地域コミュニティ活性化と地域支援の強化

地域におけるつながりの希薄化が進み、様々な活動の担い手不足が顕著になってきており、「誰もが自分らしく、いきいきと暮らしやすい地域」を実現するためには、自治会町内会など地域で活動する団体や人々、企業、学校などの多様な主体のこれまで以上の連携が必要です。

デジタル技術を活用した活動の負担軽減や、地域の課題解決の取組支援、地域コミュニティの活性化をさらに推進します。

また、地域に身近な区役所が主体となり、市民ニーズや地域課題を的確に把握し、地域の特性を踏まえた取組を展開することで、地域課題への対応力を向上させます。



【協働による地域づくり（イメージ）】

令和8年度
予算のポイント

自治会町内会活動に係る補助金等の申請をオンライン化した「自治会町内会ポータル」の運用により、自治会町内会の事務の効率化を図り、負担軽減を目指します

「横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」」の全区展開や、セミナーの開催等により、新たな地域活動の担い手の確保・育成を目指し、協働による地域づくりを推進します

※主な取組の詳細は「Ⅱ市民局主要事業 2地域コミュニティの活性化（7～9ページ）」に掲載

【重点3】「行かない・待たない・書かない・回らない」区役所窓口の実現

区役所窓口で行うライフイベント※関連手続きについて、市民の負担軽減が求められています。

「行かない・待たない・書かない・回らない」窓口を実現するために、「窓口サービスのリ・デザイン方針」に基づき、デジタル技術を活用して手続きの簡素化、省力化を進めます。

※ライフイベント：出生、婚姻、離婚、死亡、引っ越し、就職、退職



<窓口利用体験調査の様子(鶴見区)>

令和8年度
予算のポイント

「受付番号発券システム」の全区展開

「証明発行窓口」の統合（先行区）

※主な取組の詳細は「Ⅱ市民局主要事業 3 市民の皆様の利便性向上に向けた窓口サービスの充実（10 ページ）」に掲載

■窓口サービスのリ・デザイン方針

窓口サービスの現状の課題や改善点を探ることを目的として、職員による「窓口利用体験調査」及び窓口改善のワークショップを実施し、出された意見等を踏まえ、策定しました。

窓口サービスのオムニチャネル化

行かない

ライフイベント関連手続きのオンライン化を拡充し、市民一人ひとりが対面とオンラインを自由に選択できるサービスの推進や、コンビニエンスストアでの証明書取得等、区役所に行かずにいつでもどこでも手続きを完結できる「行かない」窓口を実現します

番号発券のオンライン化

待たない

事前WEB発券や自動呼出通知機能を備えた受付番号発券システムを導入し、自分の順番が近づいてから来庁できる「待たない」窓口を実現します

窓口の統合・ワンストップ化

書かない

回らない

証明発行窓口の統合やライフイベント関連手続きのワンストップ化を進めるとともに、申請書への手書き記入を大幅に削減する窓口支援システムの導入により、「書かない」「回らない」窓口を実現します

	証明発行窓口の統合	ライフイベント関連手続きのワンストップ化
8年度	先行区（鶴見区）	—
9年度	一部区へ展開	先行区（鶴見区） 含め一部区で実施
10年度	全区展開	全区展開

【窓口の統合・ワンストップ化スケジュール】

業務フローの簡素化・統一化

BPRにより、業務フローの簡素化及び18区統一のうえ、システム入力処理の自動化やエンドツーエンドのデジタル化により職員の負担も軽減します

Ⅱ 市民局主要事業

※「新たな中期計画」に記載されている政策及び施策成果に寄与する主な事業は、**新中期** を付けています。

※()内は前年度予算額／【 】内は事業別内訳掲載ページ番号 ※職員人件費及び事務管理費を除く

1 地域防犯力の向上

8億 7,904 万円(13 億 5,334 万円)

スマート防犯シティの推進

新中期

8 億 7, 904 万円 (13 億 5, 334 万円)

スマート防犯シティ推進事業、地域防犯活動支援事業、横浜市防犯協会連合会補助金、LED 防犯灯設置維持管理事業【P. 25】

【ビジョン1:DXによる防犯力向上】

GISマップを活用し、効率的に防犯灯を設置することで暗がりの解消を目指します。また、スマート防犯モデル事業の実施や、地域防犯カメラ設置補助を拡充します。

【ビジョン2:迅速・的確な、データによる防犯力向上】

犯罪情報を分析し、LINE など最適な SNS を活用した情報発信や、ナッジを取り入れた啓発を推進します。

【ビジョン3:自助共助による防犯力向上】

「ながら見守り」の促進、青色回転灯付き車両による防犯パトロール「ハマパト」の実施、よこはま安心ボックス設置を支援します。

また、LED防犯灯の安定的かつ効率的な維持管理のため、PFIを活用した手法の検討を進めます。



<防犯灯の位置情報を記載したGIS マップイメージ>

◇コラム2◇スマート防犯モデル事業

モデル事業区域内にある防犯灯を照度自動調整機能、無線通信機能が付いた防犯灯(=スマート防犯灯)に付け替え、さらに防犯カメラ機能を搭載し、同区域内の小学校通学児童に「見守りタグ」を配付します。

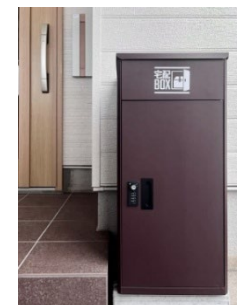
防犯灯の無線通信機能で子どもの位置情報を把握し、保護者がスマートフォンで確認できるようにすることで子どもの見守りを強化します。



<イメージ図>

◇コラム3◇よこはま安心ボックス設置支援事業

ネット通販の普及に伴い、宅配需要が高まる中で、対面での受け取り、個人情報の流出、盗難等のリスクが発生している状況を踏まえ、住居の形態やニーズに合わせた宅配ボックスの設置費用を支援(想定件数:6,700 世帯)し、安心して荷物を受け取れる環境づくりを進めます。



<イメージ図>

2 地域コミュニティの活性化

198 億 4,852 万円(194 億 2,910 万円)

(1) 個性ある区づくりの推進 181 億 2,268 万円 (175 億 6,134 万円)

自主企画事業費、統合事務事業費、区庁舎・区民利用施設管理費、区行政推進費、区づくり推進基金積立金【P. 26】

18 区役所で地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応しながら、地域特性やデータに基づき各区で特色のある取組を進めるとともに、区庁舎や区民利用施設の管理運営、区役所会計年度任用職員人件費や区役所との連絡調整等を行います。

なお、自主企画事業費では、デジタルプラットフォームでいただいたご意見も参考にしながら、予算編成に取り組みました。

また、新たに横浜市区づくり推進基金が設置されたことを踏まえ、寄附者のお気持ちを受け止め、寄り添いながら区の事業に活用します。

(2) 自治会町内会等の地域活動の支援 新中期 15 億 2,113 万円 (17 億 3,163 万円)

地域活動推進事業、自治会町内会館整備費補助事業、自治会町内会 DX 応援事業、地域の担い手応援事業、各区市民活動支援センター機能強化事業、市民活動情報のデジタル化事業、市民活動保険事業【P. 23, 24】

ア 自治会町内会の活動支援・負担軽減

自治会町内会及び地区連合町内会が行う地域の見守りや環境美化活動等の公益的活動経費の一部を補助するとともに、加入・活性化促進等を行います。

地域活動や防災活動の拠点となる自治会町内会館の建替え・耐震補強工事等の整備費のほか、省エネ効果の高い設備(LED照明器具、エアコン、太陽光発電設備等)を導入する際の費用の一部を補助します。

また、自治会町内会活動に効果的にデジタルツールを導入できるよう、ノウハウを持つ民間事業者と連携し、各団体のニーズ等に応じた支援を実施します。補助金申請やその他各種届出をオンライン上に集約する自治会町内会ポータル
の運用により、負担軽減や事務の効率化を図ります。



< 地域の見守り活動の様子 >

イ 新たな担い手の確保・育成

地域主体で課題解決に取り組む地域づくりを進めるため、自治会町内会の役員を対象としたセミナーの実施など、自治会町内会を中心とした地域活動の担い手の確保・育成の支援等を行います。

また、身近な地域において、社会参加のきっかけづくりから地域課題解決の担い手育成までの切れ目のない支援や、多様な主体の連携による課題の解決、魅力ある地域づくりが進むよう、各区市民活動支援センターのコーディネート力向上に向けた取組支援や各種研修・情報交換会を実施します。

加えて、地域活動の参加促進、活動の担い手の創出につなげるため、自治会町内会をはじめとした市民活動団体等が情報発信し、広く市民の皆様が情報収集できるポータルサイト「横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」」＜自治会町内会役員向けセミナーの様子＞を全区展開します。



(3) 多様な主体との協働推進

2億472万円（1億3,613万円）

市民協働推進センター事業、市民協働等推進事業、特定非営利活動法人認証等事務、よこはま夢ファンド事業【P. 24】

自治会町内会やNPO、企業、学校など、多様な主体が連携し、地域課題の解決等に取り組む「協働による地域づくり」を支援します。

協働・共創の推進のため、総合相談窓口や人材育成セミナーのほか、連携・協働に向けたコーディネートや伴走支援、交流連携の場づくりや事例発信、各区市民活動支援センターとの連携等を行う市民協働推進センターを運営します。

また、協働事業の市民提案を促進する取組、NPO法人の活動活性化に向けた、法人の設立や認定取得等の支援、市民活動推進基金「よこはま夢ファンド」による資金的な支援及び組織基盤強化支援、災害ボランティアセンターのICT化による効率的・効果的な運営支援に取り組みます。

◇コラム4◇自治会町内会ポータルの運用開始

自治会町内会が「地域活動推進費補助金」などの補助金申請や各種届出をオンライン上で行える「自治会町内会ポータル」の運用を開始します。

これにより、24時間どこからでも申請が可能となり、時間的・地理的な制約を解消し、手続きの負担軽減を図ります。



自治会町内会ポータルでできること

- ①補助金のオンライン申請
 - ・地域活動推進費補助金
 - ・町の防災組織活動費補助金
 - ・地域防犯灯維持管理費補助金
- ②基礎情報（現況届・口座情報等）
- ③委嘱委員の推薦届出
- ④防犯灯新設・移設に係る申請

◇コラム5◇市民活動情報のデジタル化事業



地域活動の担い手不足や新たな担い手の発掘が課題となっている中、各活動団体の情報は分散していて探しにくく、活動したい人とマッチングしにくい状況です。

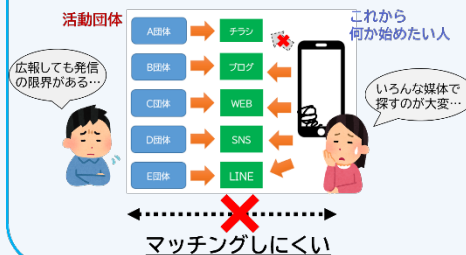
地域活動の情報をオンラインサイトで一覧化して発信し、地域活動への参加促進や新たな担い手の創出につなげます。令和7年度の一部先行区に続き、令和8年度中に全区展開します。

登録できる団体	自治会町内会 地区社会福祉協議会 各区市民活動支援センター登録団体 公園愛護会、水辺愛護会 ハマロード・サポーター
発信できる情報	団体情報、イベント情報、 ボランティア募集情報

サイトオープンのねらい

Before

- 活動団体は、チラシやWEB、SNSなどで情報発信を行うが、独自の広報であることから、広い発信は難しい
- これから何か始めたい人は各々のサイト等で情報を探さなくては、欲しい情報にたどり着きづらい



After

- 団体はサイトに簡単に投稿し、発信しやすくなる
- 市民は一元化・一覧化された情報をスマホ等から見られる



サイト活用によるメリット

活動団体

新しい仲間
が欲しいな

- ①団体のイベントを広く知ってもらえることができる

- ②イベント参加者が増えることで新たな仲間を増やすきっかけになる



これから
何か始めたい人

地域で何か
できないかな

開催日、場所、分野、キーワード等の
検索機能を使って

- ①気になるイベントを探せる

- ②すきま時間にボランティアに参加できる



3 市民の皆様の利便性向上に向けた窓口サービスの充実

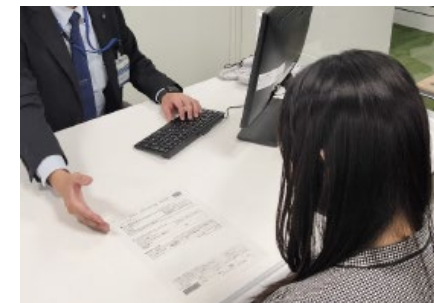
88 億 1,931 万円(113 億 9,568 万円)

(1) 「待たない」「書かない」「回らない」窓口の実現 4 億 448 万円 (一)

窓口サービスのリ・デザイン推進事業【P. 28】

事前WEB発券や自動呼出通知機能を備えた受付番号発券システムの導入により、順番が近づいてから来庁できる「待たない」窓口の取組を推進します。また、市民の皆様の利便性向上と効率的な窓口サービスの実現に向けて、証明書発行やライフイベント※に関連する手続をワンストップ化するとともに、デジタル技術を活用した「書かない」「回らない」窓口を推進します。

※出生、婚姻、離婚、死亡、引っ越し、就職、退職



<書かないワンストップ窓口のイメージ>

(2) 区役所に「行かない」窓口の実現 1 億 7,888 万円 (1 億 8,069 万円)

コンビニエンスストアにおける証明書交付事業、戸籍課業務オンライン手続推進事業【P. 27, 28】

市民の利便性向上及び区役所等の窓口混雑緩和を図るため、コンビニエンスストアでの証明書取得や、戸籍関係証明書におけるオンライン申請拡充など、来庁を必要としない手続の利用を推進します。

(3) 利用しやすい窓口づくり 1 億 61 万円 (1 億 203 万円)

魅力ある窓口づくり推進事業【P. 28】

全区に設置したお悔やみ窓口の円滑な運営を図るとともに、利用者の声を踏まえた継続的な改善を進め、一層のサービス向上に取り組みます。

また、窓口混雑緩和対策のため、広報や証明書発行端末機の利用を推進します。



<西区に設置した証明書発行端末機>

(4) マイナンバーカードの交付・更新

62 億 4,468 万円 (68 億 3,699 万円)

マイナンバーカード交付・更新事業【P. 27】



<横浜駅西口マイナンバー特設センター>

マイナンバーカード交付手続や電子証明書・カードの更新手続を円滑に行うとともに、平日夜間や土日祝日にも対応した特設センターの運営等を実施します。

また、外出が難しい方を対象に、職員が福祉施設などを訪問し、マイナンバーカードの申請をお受けするサービス(訪問申請支援)を引き続き実施します。

(5) 戸籍・住民票等にかかるサービスの提供

16 億 3,820 万円 (40 億 1,098 万円)

戸籍住民登録事務費、証明発行窓口運営事業、戸籍システム運用事業、戸籍システム関連業務支援拠点運営事業、行政サービスコーナー運営事業、郵送請求事務センター運営事業、住居表示整備等事業、住民記録システム等運用事業【P. 27, 28】

戸籍・住民登録事務や各種証明書の交付など区役所戸籍課で行う業務を円滑に実施するための支援を行うほか、業務実施に必要な各種システムの運用・保守、郵送請求による証明発行事務や行政サービスコーナーの運営等を実施します。

(6) パスポートセンターの運営

2 億 5,247 万円 (2 億 6,499 万円)

パスポートセンター運営事業【P. 28】

県から事務の移譲を受けて運営している市内2か所(中区・都筑区)のパスポートセンターで、横浜市民を対象にパスポートの発給事務を行っています。令和7年3月24日からは、切替申請に加えて新規申請にもオンライン申請を拡充しました。引き続き、市民の皆様の利便性向上及び事務の効率化を推進します。



<センター南パスポートセンター>

4 施設の整備と維持管理

20 億 1,016 万円(32 億 4,334 万円)

(1) 区庁舎・市民利用施設等の整備・改修 12 億 3,199 万円 (15 億 652 万円)

区庁舎設備改修等事業、地区センター再整備等事業、コミュニティハウス整備事業【P. 29】

ア 区庁舎設備改修等事業

庁舎等の運営を維持するために必要な設備の修繕などを行います。

また、青葉区総合庁舎の浸水対策や保土ヶ谷区総合庁舎の狭あい化対策などを進めます。

施設名称	実施内容	実施期間
青葉区総合庁舎の浸水対策(青葉区)	工事	令和7～9年度
保土ヶ谷区総合庁舎の狭あい化対策(保土ヶ谷区)	工事	令和7～8年度
中土木事務所の資材倉庫新設(中区)	実施設計	令和8～9年度

イ 地区センター再整備等事業

地区センター等における必要な施設修繕などを行います。

また、体育室に空調機を設置していない地区センターに空調機を順次設置するほか、災害時における給水機能を強化するため、地区センター2か所に、耐震給水栓を整備します。

空調機を設置する施設名称	実施内容	実施期間
永谷地区センター(港南区)	工事	令和8年度
藤が丘地区センター(青葉区)、東戸塚地区センター(戸塚区)、中川地区センター(泉区)	実施設計	令和7～8年度

ウ コミュニティハウス整備事業

都岡小コミュニティハウス、南本宿公園コミュニティハウスの工事を行います。

施設名称	実施内容	実施期間
都岡小コミュニティハウス(旭区) ※学校建替えに伴う複合化	工事	令和6～8年度
南本宿公園コミュニティハウス(旭区)	工事	令和8～9年度

(2) 区庁舎・市民利用施設等の維持管理

7億7,817万円（17億3,683万円）

瀬谷区総合庁舎維持管理事業、戸塚区総合庁舎整備事業、上郷・森の家改修運営事業、
子どもの遊び場等遊具保全事業、地区センター・公会堂等指定管理者選定事業【P. 29】

PFI事業により戸塚区総合庁舎や上郷・森の家の維持管理・運営を行うとともに、
瀬谷区総合庁舎の維持管理業務については、包括的民間委託により実施します。



<瀬谷区総合庁舎の外観>

5 人権を尊重した市政運営

4,432 万円(4,636 万円)

(1) 人権施策の推進

2,122 万円 (2,310 万円)

人権施策推進事業【P.22】

「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指して、人権に関する施策を総合的に企画・調整します。人権擁護委員による人権キャラバンの支援や、全国中学生人権作文コンテスト横浜市大会の実施、学校との協働による人権啓発ポスターの作成、講演会や研修の実施等を通じて、市民、事業者、団体等全ての人々に向けた啓発・研修を推進します。

また、人権施策基本指針の改訂を行います。



<令和7年度人権啓発ポスター>

◇コラム6◇横浜市人権施策基本指針の改訂

人は、誰もがかけがえのない存在であり、一人ひとりが多様な個性と豊かな可能性を有しています。人権とは、その基盤となる一人ひとりの尊厳に関わる固有の権利であり、それらが保障されることによって、人は希望を持ち、努力し、可能性を発揮することができます。

人権は誰もが等しく持っているものです。全ての人が互いの人権を尊重しあうことが、自らの人権が尊重されることにつながります。

「横浜市人権施策基本指針」は、横浜市のあらゆる施策・事業について、人権尊重の視点を持って推進するための基本姿勢を示すとともに、横浜市における人権施策の取組の全体像を明らかにするためものです。平成10年度に策定し、平成23年度から5年ごとに、新たな人権課題への対応や人権に関する法整備が進んでいる状況等を踏まえ、改訂を行ってきました。令和8年度の改訂にあたっては、令和7年度に実施した「人権に関する市民意識調査」の結果や昨今の状況、また各人権団体の意見を踏まえたものとします。



(2) 犯罪被害者等の支援

1,622 万円 (1,643 万円)

犯罪被害者等支援事業【P. 22】



<令和7年度犯罪被害者等支援市民講演会の様子>

「横浜市犯罪被害者等支援条例」はその基本理念で、犯罪被害者支援は犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう、とぎれることなく行われるものとしています。

本理念に基づき、犯罪被害者相談室での相談や、職員研修を行うとともに、犯罪被害にあわれた当事者の方やそのご家族への支援、支援体制の整備・強化、市民等への普及・啓発に引き続き取り組みます。

(3) 性的少数者等の支援

688 万円 (683 万円)

性的少数者等支援事業【P. 22】

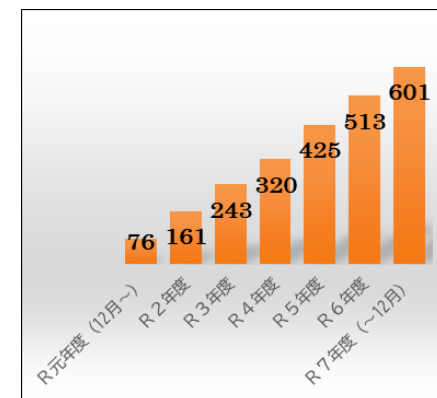
性的少数者等の方々が安心して暮らせる社会を目指して、当事者のための個別専門相談の実施や交流スペースの提供等、差別や偏見の中で孤立しがちな当事者の方への支援を行います。

また、性的少数者等への理解を進めるため、啓発イベントの実施やデジタルサイネージ等により市民や事業者向けの啓発を行うとともに、職員向けにも啓発研修を行います。

あわせて、性的少数者や事実婚の方々を対象とした、パートナーシップ宣誓制度を引き続き実施します。



<令和7年度啓発イベントの様子>



<パートナーシップ宣誓組数(累計)>

6 市民の皆様の声の施策反映と開かれた市政の推進

2億 7,992 万円(3億 6,675 万円)

(1) 広聴及び市民相談の実施

6,058 万円 (6,182 万円)

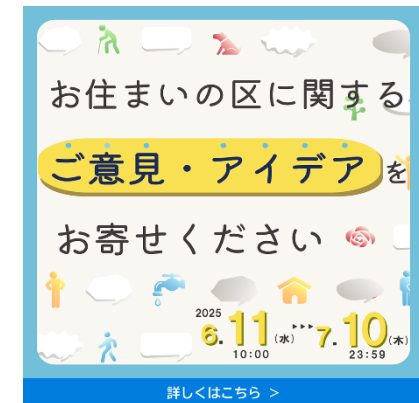
広聴事業、市民相談事業【P. 20】

「市民からの提案」、「市長の集会広聴」などの各種広聴事業を通じて、市民の皆様の声を幅広く受け止め、市民サービスの向上や施策反映につなげます。また、「デジタルプラットフォーム(オンライン上の意見募集プラットフォーム)」は令和8年度も引き続き18区で意見募集を実施し、広く市民の皆様の声を伺い、地域のニーズ・課題を把握するために活用します。

市民相談事業については、市政相談や専門相談員による法律相談、司法書士相談、交通事故相談、公証相談及び宅地建物相談等を実施します。

法律相談においては、対面、電話、オンラインを併用し、市民の皆様の利便性向上を図ります。

また、市民の皆様を対象とした市民法律講座を開催し、法律知識の普及に努めます。



<令和7年度に実施した
デジタルプラットフォームによる意見募集>

(2) 横浜市コールセンターの運営等

1億 6,611 万円 (1億 6,614 万円)

横浜市コールセンター事業【P. 21】

市役所や区役所の各種手続、窓口案内、市の施設、イベント情報、市営交通等の問合せに、8時から 21 時まで年中無休で対応するとともに、区役所代表電話及び市庁舎代表電話の交換業務を行います。

併せて、デジタル技術を活用した市政案内チャットボットを運用し、市民サービスの向上を図ります。

(3) 市政に関する情報公開の推進等

4,055 万円 (1億 559 万円)

情報公開推進等事業、市民情報センター運営事業【P. 20】

情報公開制度を適切に運用し、市政の透明化を推進します。その案内窓口として、市政に関する情報を提供する市民情報センターを運営します。併せて、情報公開に係る市民の皆様の利便性を確保するため、オンラインによる「行政文書の目録検索」「任意の情報提供」「開示請求に係る手続(閲覧、写しの交付手数料納付、写しの交付)」の機能を搭載した情報公開システムを安定的に運用します。

また、情報公開に関する不服申立てについては、有識者で構成される「横浜市情報公開・個人情報保護審査会」により、公正に審査します。



<市民情報センター>

◇コラム7◇情報公開システム

オンラインでできる情報公開の手続きは開示請求の電子申請のみ※で、開示対象文書の閲覧には来庁が、写しの交付手数料の支払いには金融機関での手続きが必要です。令和8年中に稼働予定の「横浜市情報公開システム」では、閲覧や手数料の支払いをオンラインで完結できるようにするとともに、行政文書の目録検索・ダウンロード機能も整備します。情報公開の分野でも「行かない窓口」を進め、いつでも・どこからでも市政情報にアクセスできる環境を目指します。

システム稼働後に可能となる機能
パソコンやスマートフォンによる開示対象文書の閲覧及び写しの交付
写しの交付手数料の電子決済
アップロード済の任意提供文書を開示請求せずに閲覧・取得

※開示請求の電子申請は、従来のとおり電子申請・届出システムを活用します

市役所、区役所閉庁時間、土日祝日等も可能です

(4) 行政機関等匿名加工情報提供事業の推進

1, 038 万円 (3, 048 万円)

匿名加工情報提供事業【P. 20】

本市が保有する個人情報をもとに特定の個人を識別できないように加工し、復元できないようにした上で「行政機関等匿名加工情報」として事業者等に提供します。また、本市の保有データのカatalogともいえる「個人情報ファイル簿」をクラウド上で公開し、事業者の情報へのアクセスを容易にすることで、データ利活用促進につなげます。

(5) 本市が取り扱う個人情報の保護

230 万円 (272 万円)

個人情報保護推進事業【P. 20】

個人情報保護法に基づく個人情報の取扱いに関する研修や啓発を実施するとともに、「横浜市個人情報保護審議会」や「横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会」の運営を通じ、個人情報の取扱いの適正化を図ります。

また、審議会では、マイナンバー取扱事務に係る特定個人情報保護評価の第三者点検を行います。

◇コラム8◇横浜市食料品等価格高騰対応給付事業

【令和8年度1月補正:179 億 873 万円】

食料品価格等の物価高騰に直面する生活者への支援として、可能な限り速やかに支援が行き届くよう、給付事業を実施します。

【支援の概要】

- ・給付額:1人あたり 5,000 円相当の電子クーポンまたは商品券の配付
- ・対象者:平成 19 年4月1日までに生まれた方で、基準日時点(令和8年2月1日)で本市に住民登録がある方
- ・対象者数:約 325 万人
- ・スケジュール:令和8年4月下旬予定 電子クーポン通知発送
7月以降 商品券関係事務

主な財源創出の取組

令和8年度予算編成においては、持続可能な市政運営の実現に向け、「横浜市の持続的な発展に向けた財政ビジョン」「新たな中期計画」「行政運営の基本方針」の3つの市政方針に基づき、中長期的な視点に立った施策の推進と財政の健全性の維持を踏まえ、財源創出に取り組みました。

デジタル技術の活用、業務プロセスの見直し等による業務の最適化を進め、市民サービスの充実と財源創出を両立する予算としました。

事業名	財源創出の内容	財源創出額
「創造・転換」による財源創出(歳入確保の取組)		
スマート防犯シティ推進事業	補助活用による歳入確保	34 百万円
マイナンバーカード交付・更新事業	業務の一部を見直し、補助対象経費となることによる歳入確保	5百万円
ふるさと納税の推進		
個性ある区づくり推進費	企業版ふるさと納税の活用による歳入確保	8百万円
その他の財源創出(その他の歳入確保)		
よこはま夢ファンド事業	寄附受け入れによる歳入確保	70 百万円
その他の財源創出(決算等にあわせた見直し)		
地域活動推進事業	決算実績に基づく見直し	62 百万円

Ⅲ 令和８年度 市民局予算案 総括表

(単位：千円)

款 項 目	令和８年度	令和７年度	差引増▲減	前年比 (%)	増減の主な理由
３款 市民費	45,720,301	49,409,349	▲ 3,689,048	▲ 7.5	
１項 市民行政費	16,768,155	17,208,991	▲ 440,836	▲ 2.6	
１目 市民総務費	14,118,946	13,941,535	177,411	1.3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員人件費の給与改定による増 264,435 ・情報公開システムの開発終了による減 ▲73,000 ・「デジタルプラットフォーム」を活用した市民意見募集にかかる改修費用の減額に伴う委託料の減 ▲2,700
２目 人権施策推進費	44,319	46,360	▲ 2,041	▲ 4.4	<ul style="list-style-type: none"> ・人権施策基本指針改訂事務費の増 1,168 ・市民意識調査の終了による減 ▲2,730
３目 市民協働推進費	2,604,890	3,221,096	▲ 616,206	▲ 19.1	<ul style="list-style-type: none"> ・【新規】スマート防犯シティ推進事業の開始による増 165,769 ・地域の防犯力向上緊急対策事業の終了による減 ▲620,000
２項 地域行政費	28,952,146	32,200,358	▲ 3,248,212	▲ 10.1	
１目 個性ある区づくり推進費	18,122,675	17,561,338	561,337	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・賃金や物価の高騰による指定管理料の増 359,524 ・会計年度任用職員の報酬改定による増 65,871 ・【新規】区づくり推進基金の積立による増 10,000
２目 戸籍住民登録費	8,819,308	11,395,677	▲ 2,576,369	▲ 22.6	<ul style="list-style-type: none"> ・【新規】窓口サービスのリ・デザイン推進事業費の増 404,476 ・住民記録システム等の標準化移行完了に伴う減 ▲2,237,946 ・マイナンバーカード交付・更新事業の進捗による減 ▲592,309
３目 地域施設費	2,010,163	3,243,343	▲ 1,233,180	▲ 38.0	<ul style="list-style-type: none"> ・特定天井脱落対策事業の進捗による減 ▲506,144 ・瀬谷区総合庁舎維持管理事業のPFI事業終了による減 ▲682,365

IV 事業別内訳

3 款 1 項 1 目 市民総務費	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳				<p>市政に関する情報公開の推進、本市が取り扱う個人情報 の保護、広聴相談事業、横浜市コールセンター事業等 に要する経費及び庶務的事務等に要する経費並びに職員 人件費です。</p>
	千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源	
	14,118,946	13,941,535	177,411	0	0	21,177	14,097,769	
<p>主要事業6 掲載</p> <p>(1) 情報公開推進等事業 21,826千円 (前年度82,880千円)</p> <p>情報公開条例及び個人情報保護法に基づく開示請求等に係る事務を円滑、適正に処理するとともに、不開示決定等に対する不服申立てを審議する「横浜市情報公開・個人情報保護審査会」を運営します。</p> <p>また、情報公開に係る市民の皆様の利便性を確保するため、オンラインによる「行政文書の目録検索」「任意の情報提供」「開示請求に係る手続(閲覧、写しの交付手数料納付、写しの交付)」の機能を搭載した情報公開システムを安定的に運用します。</p> <p>(2) 市民情報センター運営事業 18,722千円 (前年度18,552千円)</p> <p>情報公開の総合窓口として、開示請求等の受付や、市政情報の閲覧等を行う市民情報センターを運営します。市政刊行物・グッズ販売コーナーにおいては、本市や外郭団体等が作成した刊行物等の有償頒布を行います。</p> <p>(3) 個人情報保護推進事業 2,300千円 (前年度2,724千円)</p> <p>本市における個人情報の取扱いの適正化、マイナンバー取扱事務に係る特定個人情報保護評価の第三者点検、さらに「横浜市個人情報保護審議会」とその部会である「横浜市個人情報保護に関する第三者評価委員会」を運営します。</p> <p>(4) 匿名加工情報提供事業 10,377千円 (前年度30,477千円)</p> <p>本市が保有する個人情報ファイルについて、民間事業者等から活用提案があった場合はこれを審査し、個々人が特定されないように匿名加工した上で、「行政機関等匿名加工情報」として提供します。</p> <p>(5) 広聴事業 15,492千円 (前年度14,181千円)</p> <p>「市民からの提案」、「市長の集会広聴」などの各種広聴事業を通じて、市民の皆様の声を幅広く受け止め、市民サービスの向上や施策反映につなげます。また、「デジタルプラットフォーム(オンライン上の意見募集プラットフォーム)」について、より効果的な運用となるよう、機能強化を図ります。</p> <p>(6) 市民相談事業 45,086千円 (前年度47,637千円)</p> <p>市政相談や専門相談員による法律相談、司法書士相談、交通事故相談、公証相談及び宅地建物相談等を実施します。法律相談においては、対面、電話、オンラインを併用し、市民の皆様の利便性向上を図ります。また、市民の皆様を対象とした市民法律講座を開催し、法律知識の普及に努めます。</p>								

IV 事業別内訳

(7) 横浜市コールセンター事業

166,113千円 (前年度166,142千円)

市役所や区役所の各種手続、窓口案内、市の施設、イベント情報、市営交通等の問合せに、8時から21時まで年中無休で対応するとともに、区役所代表電話及び市庁舎代表電話の交換業務を行います。

併せて、市政案内チャットボットの運用を行います。

(8) 事務管理費

1,688千円 (前年度1,880千円)

局全体の円滑な業務執行に資するため、庶務事務等に要する経費を計上するほか職員研修など人材育成を行います。

(9) 職員人件費

13,837,342千円 (前年度13,572,907千円)

市民局及び区役所戸籍課等の職員人件費です。(常勤一般職員1,445人、再任用職員 61人)

IV 事業別内訳

3 款 1 項 2 目 人権施策推進費	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳				人権に関する施策の企画・調整及び推進に要する経費です。
				国・県	市債	その他	一般財源	
主要事業5 掲載	千円 44,319	千円 46,360	千円 ▲2,041	千円 17,262	千円 0	千円 5,520	千円 21,537	

(1) 人権施策推進事業

21,216千円 (前年度23,100千円)

横浜市人権施策基本指針に基づき、「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現を目指して、人権に関する施策を総合的に企画・調整するとともに、市民向け啓発イベント等の人権啓発事業及び職員向けの人権啓発研修等を行い、市民、事業者、団体等全ての人々に向けた啓発・研修を推進します。

(2) 犯罪被害者等支援事業

16,224千円 (前年度16,433千円)

「横浜市犯罪被害者等支援条例」に基づき、犯罪被害者等の相談に応じ、地域で安心して生活を送れるよう、日常生活を営むために必要な経費の助成や経済的負担の軽減のための支援金の支給、法律相談や精神的な被害の回復支援等を行います。また、犯罪被害者等が置かれた状況や心情について、市民の皆様の理解を促進するための普及啓発活動や職員研修等を実施するとともに、庁内関係所管部署や関係機関との連携体制の整備・強化を図ります。

(3) 性的少数者等支援事業

6,879千円 (前年度6,827千円)

だれにも相談できずに孤立し、ひきこもりや自殺という深刻な状況に陥ることを防止するための取組として、性的少数者専門の相談窓口や当事者同士の交流スペースの提供等をするとともに、性的少数者等への理解を進めるための啓発や研修、性的少数者や事実婚の方などを対象としたパートナーシップ宣誓制度を実施します。

IV 事業別内訳

3 款 1 項 3 目 市民協働推進費	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳				協働の取組の推進、地域活動や市民公益活動の活性化、及び地域防犯力の向上に向けた支援に要する経費です。
				国・県	市債	その他	一般財源	
主要事業1・2 掲載	千円 2,604,890	千円 3,221,096	千円 ▲616,206	千円 33,600	千円 0	千円 146,226	千円 2,425,064	

(1) 地域活動推進事業

1,289,544千円（前年度1,352,111千円）

自治会町内会活動への支援として、自治会町内会・地区連合町内会が実施する地域の見守りや、環境美化活動等の公益的活動の経費の一部（補助率1/3、上限あり）を補助します。さらに、市町内会連合会・区連合町内会の運営補助及び加入案内などの事業に対する支援を行います。

また、自治会町内会加入・活性化促進事業として、市町内会連合会とともに自治会町内会活動のPRや地域活動の事例紹介等に取り組み、自治会町内会への加入を促進します。

(2) 自治会町内会館整備費補助事業

193,260千円（前年度64,380千円）

自治会町内会が整備する会館の整備費の一部（補助率1/2、上限あり）や、LED照明器具、エアコン、太陽光発電設備等の省エネ効果の高い設備を導入する際の費用の一部（補助率2/3、上限あり）を補助します。また、風水害等の自然災害による緊急修繕に対応します。

(3) 自治会町内会DX応援事業

12,926千円（前年度20,350千円）

自治会町内会活動におけるデジタルツールの導入・活用については、ノウハウを持つ民間事業者と連携し、各団体の状況やニーズに応じた支援を実施します。また、自治会町内会が行う補助金申請のオンライン化や事務の効率化を図るため自治会町内会ポータルの運用を開始します。

(4) 地域の担い手応援事業

7,030千円（前年度8,500千円）

地域主体で課題解決に取り組む地域づくりを進めるため、自治会町内会の担い手創出支援や、行政と地域の連携をより強化するための職員のコーディネート力向上に向けた研修を行います。

(5) 各区市民活動支援センター機能強化事業

4,475千円（前年度17,062千円）

地域課題の解決や魅力ある地域づくりの一層の推進を図るため、身近な地域で活動する様々な主体の連携が進むよう、各区市民活動支援センターのコーディネート力向上に向けた取組支援や各種研修・情報交換会を実施します。

IV 事業別内訳

(6) 市民活動情報のデジタル化事業

3,800千円 (前年度3,800千円)

地域活動の担い手不足や新たな担い手の発掘が課題となる中、地域活動の情報をオンラインサイトで一覧化して発信し、必要な情報を容易に取得いただくことで、地域活動への参加促進や、新たな担い手の創出を目指し、「横浜地域活動・ボランティア情報サイト「よこむすび」」を令和7年度にオープンしました。令和8年度中に、全区展開します。

(7) 市民活動保険事業

10,098千円 (前年度10,098千円)

市民の皆様が安心してボランティア活動を行えるよう、ボランティア活動中の事故を対象に市民活動保険事業を実施します。

(8) 市民協働推進センター事業

46,279千円 (前年度44,279千円)

協働・共創の推進のため、総合相談窓口や人材育成セミナーのほか、連携・協働に向けたコーディネートや伴走支援、交流連携の場づくりや事例発信、各区市民活動支援センターとの連携等を行う市民協働推進センターを運営します。

特に、社会課題解決に向けた協働の担い手のすそ野拡大のため、市民活動団体をはじめとした様々な主体等との連携を積極的に行い、市内の中間支援組織等とのネットワークを活かして、市民公益活動の持続性向上や新たな取組の創出を促進していきます。

(9) 市民協働等推進事業

3,190千円 (前年度3,936千円)

多様化・複雑化する地域課題を解決し、より住みよいまちづくりの実現に向け、地域で活動する様々な主体の持つ強みを活かしながら、協働による取組を推進するため、市民協働推進委員会の運営、市民協働提案事業等を行います。また、災害時における情報の収集やボランティアの受け入れ、派遣が円滑に行えるよう、ICTを活用した災害ボランティアセンターの運営に要する費用等に対して負担金を交付します。

(10) 特定非営利活動法人認証等事務

9,061千円 (前年度8,686千円)

特定非営利活動促進法に基づき、所轄庁として、特定非営利活動法人（NPO法人）の設立・定款変更の認証、認定、指定に関する事務を行うとともに、事業報告書等の各種届出の受理等を行います。また、市民協働推進センターと連携し、事業報告書の閲覧や法人設立・運営相談、活動支援等を行うなど、NPO法人の活動を促進します。

(11) よこはま夢ファンド事業

146,185千円 (前年度79,225千円)

市民の皆様や企業等から寄附を募り、市民活動推進基金（よこはま夢ファンド）に積み立て、NPO法人の公益的な活動にかかる費用の助成、組織基盤強化支援等を通じて、団体の運営を支援します。

IV 事業別内訳

(12) スマート防犯シティ推進事業

165,769千円 (前年度0千円)

近年、犯罪の手口は多様化・巧妙化し、刑法犯認知件数も増加に転じています。さらに、少子高齢化や地域のつながりの希薄化などにより、防犯活動の担い手確保が困難となっています。こうした今日的な課題に対応するため、

- ・市民のニーズの高い暗がりの解消を進めるため、防犯灯の新設を進めます。自治会町内会の要望に応える形だけでなく、市（区）がプッシュ型で防犯灯を設置するなど、地域と行政が連携して「暗がりの解消」を目指していきます。
- ・地域防犯カメラ設置補助制度を拡充(補助上限額28万円、補助台数240台)し、地域の見守り強化に繋がります。
- ・市の責務を明確化した防犯条例を制定し、体系的な防犯対策を進める新たな防犯計画を策定するのに伴い、「ながら見守り」の促進や、青色回転灯を装備した車両による防犯パトロール「ハマパト」を実施し、防犯対策を体系的に推進します。

(13) 地域防犯活動支援事業

134,214千円 (前年度75,908千円)

神奈川県警察をはじめ、地域の皆様や民間企業の皆様と連携した子どもの見守り、「闇バイト」や特殊詐欺などへの防犯対策等に関する効果的な広報・啓発をさらに進めていきます。また、なりすましや強盗など対面リスクへの不安を解消するため、非対面での荷物の受取を支援する施策として、宅配ボックスの設置支援事業を新たに実施します。

(14) 横浜市防犯協会連合会補助金

3,042千円 (前年度3,042千円)

各防犯協会・協力会が実施している防犯諸活動が、活発かつ円滑に推進できるよう横浜市防犯協会連合会へ補助金を交付します。

(15) LED防犯灯設置維持管理事業

576,017千円 (前年度654,387千円)

地域の安心安全を図るため、市所有のLED防犯灯（約18万灯）の不点灯等不具合への対応等の維持管理を行い、電気料金やESCO事業サービス料等を支出します。また、劣化が進み、老朽化が進んだ鋼管ポール防犯灯に対して、塗料塗布工法等の補修を行います。あわせて、ESCO事業終了後の維持管理に向けて、民間活力を活用した安定的で効率的な手法の検討を進めます。

IV 事業別内訳

3 款 2 項 1 目	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳				
				国・県	市債	その他	一般財源	
個性ある区づくり推進費	千円 18,122,675	千円 17,561,338	千円 561,337	千円 1,689	千円 0	千円 418,532	千円 17,702,454	身近な市民サービスの拠点である区役所が、区庁舎・区民利用施設の管理運営や、地域の身近な課題やニーズに迅速かつきめ細かく対応するための経費です。 令和8年度においても、引き続き、地域との協働で課題の解決を進められるよう、各区の特性に応じた様々な事業を展開します。
主要事業2 掲載								

(1) 自主企画事業費 [512事業] 1,829,126千円 (前年度1,827,308千円)
地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。

(2) 統合事務事業費 845,611千円 (前年度859,081千円)
広報よこはま各区版の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護、及び戸籍・住民登録等に係る経費です。

(3) 区庁舎・区民利用施設管理費 12,771,318千円 (前年度12,330,103千円)
区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費です。

施 設 の 種 類 等	予 算 額	備 考
区庁舎等	2,349,627	区役所 (18) 行政サービスセンター (10)
区版市民活動支援センター	191,467	18か所
土木事務所	194,881	18か所
公会堂	792,083	18か所
地区センター等	3,578,872	地区センター (81) 集会所 (5) スポーツ会館 (11)
こどもログハウス	180,608	18か所
区民文化センター	1,670,236	13か所
老人福祉センター等	1,034,478	老人福祉センター (18) 老人憩いの家 (2)
コミュニティハウス	1,488,427	122か所
区スポーツセンター	868,972	18か所
国際交流ラウンジ	165,247	
その他 (広場・遊び場等)	48,301	
区庁舎・区民利用施設修繕費	208,119	
合 計	12,771,318	

(4) 区行政推進費 2,666,620千円 (前年度2,544,846千円)
区役所会計年度任用職員人件費や区役所との連絡調整等に係る経費等です。

(5) 区づくり推進基金積立金 10,000千円 (前年度0千円)
寄附者のお気持ちに寄り添いながら、寄附金の着実な受け入れと活用を図り、複数年度での柔軟な活用等を可能にするための積立金です。

IV 事業別内訳

3 款 2 項 2 目 戸籍住民登録費	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳				戸籍・住民登録事務、マイナンバーカード交付・更新、行政サービスコーナーの運営、住居表示整備等の事業を円滑に実施していくとともに、窓口サービス向上の取組を引き続き実施します。
	千円	千円	千円	国・県	市債	その他	一般財源	
	8,819,308	11,395,677	▲2,576,369	6,391,769	276,000	1,658,577	492,962	
主要事業3 掲載								
<p>(1) 戸籍住民登録事務費 263,142千円 (前年度3,013,898千円) 戸籍・住民登録事務、印鑑証明事務など区役所戸籍課で行う業務を、円滑に実施するための支援を行います。</p> <p>(2) 証明発行窓口運営事業 324,424千円 (前年度306,080千円) 戸籍課窓口の混雑の緩和等を目的として、届出窓口とは分離した形で戸籍課証明発行窓口を運営します。</p> <p>(3) 戸籍システム運用事業 123,656千円 (前年度172,508千円) 戸籍システム関連の稼働状況監視や機器、ソフトウェアの保守、障害発生時の復旧作業など、戸籍システムを安定稼働させるための運用・保守及び機器更新並びに戸籍法の一部改正によるシステム改修を行います。</p> <p>(4) 戸籍システム関連業務支援拠点運営事業 215,383千円 (前年度215,904千円) 区で受け付けた届出書に係る戸籍システムへの入力作業等について、戸籍システム関連業務支援拠点で一括して行います。</p> <p>(5) マイナンバーカード交付・更新事業 6,244,681千円 (前年度6,836,990千円) マイナンバーカード交付手続や電子証明書・カードの更新手続を円滑に行うとともに、平日夜間や土日祝日にも対応した特設センターの運営等を実施します。</p> <p>(6) 行政サービスコーナー運営事業 18,745千円 (前年度23,878千円) 行政サービスコーナーにおいて必要な事務物品の調達等を行います。</p> <p>(7) 郵送請求事務センター運営事業 271,577千円 (前年度243,709千円) 住民票の写しや戸籍関係証明書等に関する郵送請求による証明発行事務について、横浜市郵送請求事務センターで一括して行います。</p> <p>(8) コンビニエンスストアにおける証明書交付事業 177,609千円 (前年度177,609千円) コンビニ交付システムを安定稼働させるための運用・保守を行います。</p>								

IV 事業別内訳

(9) 戸籍課業務オンライン手続推進事業

1,267千円 (前年度3,080千円)

市民の利便性向上及び区役所等の混雑緩和を目的として、オンライン申請の拡充など、非来庁手続を推進します。

(10) 魅力ある窓口づくり推進事業

100,606千円 (前年度102,032千円)

- ・区役所窓口が混雑する春の引っ越しシーズンの来庁者分散を目的として、窓口混雑緩和のための広報等を実施します。
- ・全区に設置したお悔やみ窓口の円滑な運営を図るとともに、継続的な改善に取り組みます。
- ・区役所窓口の利便性向上及び業務の効率化を図るため、申請書自動作成システム及び証明書発行端末機の利用を推進します。

(11) 住居表示整備等事業

10,751千円 (前年度11,932千円)

街区表示板の再設置等事業を行います。また、住居表示台帳の再作製やバックアップデータの作成等に取り組みます。

(12) 窓口サービスのリ・デザイン推進事業

404,476千円 (前年度0千円)

デジタル技術を活用したサービスの導入、証明発行窓口の統合、窓口のワンストップ化などを行い、市民の皆様の利便性を向上すると共に、効率的な窓口サービスを実現します。

(13) 住民記録システム等運用事業

410,522千円 (前年度0千円)

住民記録システム及び住民基本台帳ネットワークシステム関連の稼働状況監視や機器、ソフトウェアの保守、障害発生時の復旧作業など、システムを安定稼働させるための運用・保守及び機器更新を行います。

(14) パスポートセンター運営事業

252,469千円 (前年度264,988千円)

県から事務の移譲を受けて運営している市内2か所（中区、都筑区）のパスポートセンターで、横浜市民を対象にパスポートの発給事務を行います。

IV 事業別内訳

3 款 2 項 3 目 地域施設費	本年度	前年度	差引	本年度の財源内訳				区庁舎等の庁舎施設及び地区センター等の市民利用施設の整備・改修に要する経費です。
				国・県	市債	その他	一般財源	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
2, 010, 163	3, 243, 343	▲1, 233, 180	33, 372	908, 000	244, 242	824, 549		
主要事業4 掲載								
<div><div>(1) 瀬谷区総合庁舎維持管理事業</div><div>瀬谷区総合庁舎の維持管理業務を、包括的民間委託により実施します。</div><div>85, 393千円 (前年度767, 758千円)</div></div> <div><div>(2) 戸塚区総合庁舎整備事業</div><div>PFI事業契約に基づく維持管理・運営や、次期手法の調査・検討等を行います。</div><div>555, 294千円 (前年度566, 998千円)</div></div> <div><div>(3) 区庁舎設備改修等事業</div><div>庁舎等の運営を維持するために必要な設備の修繕等を行うほか、執務環境に課題のある区庁舎や土木事務所等の狭あい化対策などを行います。</div><div>令和8年度は、青葉区総合庁舎における浸水対策工事や保土ヶ谷区総合庁舎の狭あい化対策工事、中土木事務所の資材倉庫新設における実施設計などを行います。また、鶴見区総合庁舎内の旧県税事務所の床の賃借を行います。</div><div>806, 013千円 (前年度607, 041千円)</div></div> <div><div>(4) 地区センター再整備等事業</div><div>地区センター等における施設修繕などを行います。また、体育室に空調機を設置していない地区センターに空調機を順次設置するほか、災害時における給水機能を強化するため、地区センター2か所に耐震給水栓を整備します。</div><div>【空調機を設置する地区センター】 実施設計：藤が丘、東戸塚、中川 工事：永谷</div><div>161, 308千円 (前年度449, 752千円)</div></div> <div><div>(5) コミュニティハウス整備事業</div><div>都岡小コミュニティハウスの工事、開設準備等を行います。また、南本宿公園コミュニティハウスの工事を行います。</div><div>264, 668千円 (前年度210, 649千円)</div></div> <div><div>(6) 上郷・森の家改修運営事業</div><div>PFI事業契約に基づき、維持管理・運営を行います。</div><div>130, 614千円 (前年度126, 465千円)</div></div> <div><div>(7) 子どもの遊び場等遊具保全事業</div><div>子どもの遊び場等の遊具について保全等を行います。</div><div>2, 058千円 (前年度2, 058千円)</div></div> <div><div>(8) 地区センター・公会堂等指定管理者選定事業</div><div>地区センター条例施設110施設、公会堂11施設における指定管理者の選定を行います。</div><div>4, 815千円 (前年度878千円)</div></div>								

V 参考資料

令和8年度 自主企画事業費 区別一覧

(単位:千円)

区 名	令和8年度	令和7年度	差引	頁
鶴 見	109,774	109,456	318	31
神 奈 川	106,714	106,415	299	32
西	100,749	100,598	151	33
中	102,028	101,887	141	34
南	99,424	99,264	160	35
港 南	106,632	107,043	△411	36
保 土 ケ 谷	100,481	100,371	110	37
旭	102,600	102,686	△86	38
磯 子	95,208	95,482	△274	39

区 名	令和8年度	令和7年度	差引	頁
金 沢	99,713	98,377	1,336	40
港 北	109,372	109,388	△16	41
緑	97,378	97,453	△75	42
青 葉	104,934	105,340	△406	43
都 筑	99,651	99,873	△222	44
戸 塚	104,223	104,316	△93	45
栄	98,976	98,686	290	46
泉	97,092	96,543	549	47
瀬 谷	94,177	94,130	47	48
合 計	1,829,126	1,827,308	1,818	

令和8年度 鶴見区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～ “いつまでも住み続けたいまち 鶴見” を目指して～

現在策定中の「横浜市中期計画2026～2029」を踏まえ、将来にわたり誰もが“いつまでも住み続けたいまち”となることを目指して、3つの施策に取り組みます。
区民の皆さまの声をしっかりと把握し、デジタル技術の活用や業務改善によるサービス向上、創造・転換の視点を踏まえながら、区の特성에応じた事業・サービスを着実に進めます。

また、令和9年の「鶴見区制100周年」及び「GREEN×EXPO 2027」に向けて、地域・企業・団体の皆さまと連携して、取組を進めていきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：109,774千円

1 地域力の強化 32,663千円

地震、風水害及び都市災害等に備え、自助・共助の取組推進など、地域における防災力の向上を図るとともに、自治会町内会等の活動支援や、地域と連携した防犯・交通安全対策など、地域力強化の取組を進めます。

《主な事業》防災活動推進事業、自治会町内会振興事業、鶴見区防犯活動支援事業

2 区内経済・活力の向上 36,837千円

多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる多文化共生を推進します。また、「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成とあわせた脱炭素行動の推進や「鶴見区制100周年」に向けた取組を進めます。

《主な事業》多文化のまち・つるみ推進事業、鶴見区環境行動推進事業、鶴見区制100周年記念事業

3 子どもから大人まで安心・元気に 22,173千円

身近な地域での子育て支援や保育所支援の充実、健康づくりなどの取組をより充実させ、あらゆる世代がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》つるみの未来を育てる保育所事業、青少年健全育成事業、ヘルスアッププラン

＜施策実現に向けた行政運営＞ 18,101千円

人権や多様性を尊重し、区民目線とスピード感をもって、区民の皆さまに寄り添ったサービスを提供し、信頼される区役所づくりを進めます。

《主な事業》鶴見区広報・広聴事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

鶴見区制100周年を盛り上げていくためのアイデアや「子どもたちが安心して過ごせる環境を整えてほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》鶴見区制100周年記念事業、青少年健全育成事業

令和8年度 神奈川区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

笑顔でつながる「神奈川区」～地域の皆様とともに、安心して温かい元気なまちづくりを進めます～

子育て世代の流入や高齢化の進展、脱炭素化に向けた行動変容など、社会情勢や環境の変化に的確に対応し、地域や関係団体、企業、大学等多様な主体との「つながり」を力に、協働によるまちづくりを進めます。令和9年のGREEN×EXPO 2027や区制100周年を契機に、将来も見据え、誰もが住みたい住み続けたいまちづくりを進めます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：106,714千円

1 目標達成に向けた3つの施策

(1) いきいきと暮らせるまちづくり

20,338千円

子育て中の方、高齢者の方、障害のある方、外国につながるのある方、すべての皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、きめ細かに行政サービスにつなげます。第5期地域福祉保健計画の推進、健康づくりを通じた健康寿命の延伸に取り組むとともに、親と子のたまり場「すくすくかめっ子」の運営支援を行います。

《主な事業》かながわ子育てかめっ子支援事業、かながわ健康づくり応援事業、地域福祉保健活動推進・支援事業

(2) 魅力あふれるまちづくり

45,668千円

つながり、支えあうことの良さを実感し、地域に愛着を感じるとともに、神奈川区の様々な魅力に触れ、「住みたい・住み続けたい」まちづくりを進めます。

脱炭素社会の形成に向けて、若年層をはじめ区民の環境意識を醸成し、環境負荷の軽減やまちの美化、花やみどりの創出などライフスタイルの行動変容を促す取組を重点的に実施します。区制100周年に向けた取組も進めます。

《主な事業》花と緑あふれるまちづくり事業、チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり、かながわ脱炭素化推進事業、神奈川区制100周年記念事業

(3) 安心・安全なまちづくり

30,198千円

安心・安全な暮らしの実現に向け、自助・共助・公助の防災や防犯の取組を進めます。地域防災力向上に向けて、共助の取組の中心となる「まちの防災組織」の活性化や地域防災拠点の訓練等の充実、あわせて、小中学校と連携し次代の担い手の育成に重点的に取り組みます。

《主な事業》地域防災力向上事業

2 信頼される区役所づくり

10,510千円

行政サービスを正確・迅速に実現するため、区役所職員のスキルアップを図るとともに、来庁者が快適に区役所を利用できるよう環境整備を進めます。

《主な事業》チーム神奈川おもてなし向上事業、かながわデジタル推進事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「ごみのポイ捨て注意喚起やごみ拾い運動の強化をしてほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》チャレンジ・ザ・かながわ きれいなまちづくり

令和8年度 西区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～つながりを大切に 誰もがにこやかしあわせにくらせるまち 西区へ～

「にこまちプラン」第5期計画を着実に推進するとともに、子育て支援や認知症・障害への理解促進など、誰もが生き生きと暮らせるインクルーシブな社会の実現を目指します。持続可能で環境に配慮したライフスタイルへの啓発を行うとともに、GREEN×EXPO 2027の開催に向けた機運を醸成し、玄関口となる横浜駅とその周辺の美化・環境向上に取り組みます。また、自然災害に備えた防災・減災の取組や、警察と連携し安心安全な街づくりを目指した防犯対策に取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：100,749千円

- | | | |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1 | 地域のつながりづくり
地域の課題の解決に向けて「にこまちプラン」第5期プランを推進し、「担い手づくり」や「つながりづくり」など、持続可能な地域運営を目指します。
《主な事業》「にこやか しあわせ ぐらしのまちプラン」（西区地域福祉保健計画）の推進 | 10,854千円 |
| 2 | いきいきと健やかに暮らせるまちづくり
子どもから高齢者まで誰もが健康に暮らせる環境づくりとして子育て支援、高齢者への活動のサポート、障害の理解を深める啓発、生活習慣病予防などを進めます。
《主な事業》西区子育て支援事業、高齢者あんしん生活サポート事業、障害のある人も住みやすいまちづくり事業 | 19,250千円 |
| 3 | まちの回遊性向上とにぎわいづくり
GREEN×EXPO 2027に向けた機運醸成を行うとともに、多くの来街者を迎える、横浜の玄関口である横浜駅の美化・環境向上を公民連携により推進します。
《主な事業》地域連携推進・回遊性向上事業、商店街及び「まち」のにぎわい創出事業、藤と季節の花がつなぐまちづくり事業 | 37,941千円 |
| 4 | 安心・安全なまちづくり
区の特性に応じた防災・減災対策や警察と連携した啓発などの防犯対策に取り組みます。また、脱炭素社会の推進のため、ごみの資源化・減量化の啓発を進めます。
《主な事業》地域防災活動推進事業、安心して暮らせるまちづくり推進事業、西区 みんなでエコアクション！推進事業 | 23,375千円 |
| 5 | 親しみやすい区役所づくり
きめ細かな窓口サービスを提供し、誰もが安心して快適に施設を利用することができるよう、区庁舎及び区民利用施設の環境改善を行います。
《主な事業》サービス改善推進事業、区庁舎・区民利用施設環境整備事業 | 9,329千円 |

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「横浜駅周辺の環境美化、向上に取り組んでほしい」「地区センターなど地域の身近な施設の図書を充実してほしい」「父親が参加しやすく、父親同士が交流できる企画を積極的に開催してほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》地域連携推進・回遊性向上事業、西区 みんなでエコアクション！推進事業、読書活動推進事業、西区子育て支援事業

令和8年度 中区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

誰もが安心と活力を実感するまち中区 ～住んで良し、働いて良し、訪れて良し～

地域防災や子育て支援、多文化共生など、区民の皆様の安心・安全な生活を支え、地域の活力・魅力を高める施策にしっかりと取り組みます。2027年に迎えるGREEN×EXPO 2027や中区制100周年に向け、地域の皆様、関係団体の皆様とともにまちのにぎわいと活力を創出し、住みたい・訪れたいまちの実現を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：102,028千円

1 安心・安全で健やかに暮らせるまちづくり

20,241千円

区の特性を踏まえた地域防災力の向上を図るほか、地域の実情に応じた防犯の取組を継続します。また、プラスチックごみの削減等、SDGsの取組を推進します。

《主な事業》地域防災力向上事業、みらい環境育成事業

2 誰もが生き生きと暮らせるまちづくり

22,457千円

子どもや若者の声を区政に反映し、誰もが誇りと愛着を持って暮らせるまちの実現につなげます。高齢者・障害者が生き生きと生活できる地域づくりを進めます。

《主な事業》未来へつなぐ区制100周年 こども・若者みらい共創事業、みんなで子育て事業、中区地域福祉保健計画 中なかいいネ！推進事業、高齢者はつらつ推進事業

3 多文化共生のまちづくり

13,475千円

在住外国人と地域住民が安心して暮らせるよう、日本での生活に必要な情報や制度等を伝えながら、地域のつながりを築き支え合うまちづくりに取り組みます。

《主な事業》多文化共生推進事業

4 にぎわいと活力にあふれるまちづくり

23,958千円

GREEN×EXPO 2027や中区制100周年に向け、広報・PRにより意識醸成を図ります。区内小学校と連携し、児童が環境について学び、地域に広める活動を実施します。

《主な事業》GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業、自治会町内会活動支援事業、中区制100周年(2027)記念事業

<施策実現に向けた行政運営>

21,897千円

区庁舎の利用者環境の改善を進め、来庁者にとってより利用しやすい庁舎となるよう環境改善を進めます。

《主な事業》区役所サービス環境向上事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「未就園児の母子が集える常設の居場所を作してほしい」「花や枯葉などの残渣をコンポストで土に戻せばCO2削減につながる」「多言語で分かりやすいゴミの分別表示を作成してほしい」「中区制100周年の周知が足りない」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》みんなで子育て事業、みらい環境育成事業、GREEN×EXPO 2027に向けた脱炭素チャレンジ事業、中区制100周年(2027)記念事業、自治会町内会活動支援事業、なかくっこ すくすくサポート推進事業

令和8年度 南区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～地域の皆さまとともにつくる「あったかい南区」～

地域のにぎわいを高めるとともに、未来を担う若い世代を支援し、地域とともに活動する仲間を増やしていきながら高齢者を支えていきます。また、区民の安全と安心を守ることで、誰もが“つながり”や“あったかさ”を感じられ、ずっと住み続けたいと思える南区をめざし、地域の皆さまの声を大切にしながら、各事業に取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：99,424千円

1 にぎわいにあふれ、あったかさを感じられるまちづくり

22,538千円

自治会町内会をはじめとした地域の皆さまと連携しながら、地域のにぎわいやつながりをさらに高め、地域経済の活性化を図ります。また、下町情緒を感じさせる商店街、歴史ある寺社や文化財、区民に親しまれるまつりなど、南区らしさを感じられる魅力を広く区内外に発信します。

《主な事業》魅力発信・にぎわいづくり事業、みなみ桜まつり事業

2 子育てしやすく、誰もが住み続けたいまちづくり

22,067千円

南区を子育てしやすいまちにしていこうため、相談体制や子どもの居場所づくりなど、妊娠期から子育て期まで切れ目ない支援を充実させるとともに、地域ぐるみで子ども・青少年の健全育成に取り組みます。また、ライフステージに合わせた区民の健康づくりや介護予防、障害者支援など様々な取組を進めるとともに、平常時からの見守り等地域の支えあいを支援し、一人ひとりが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちを目指します。

《主な事業》すこやか子育て支援事業、保育施設交流・入所サポート事業、健やか元気応援事業、高齢者・障害者地域包括ケア推進事業

3 安全で安心して暮らせる、持続可能なまちづくり

26,645千円

自らの身を守る自助力や地域の防災力を高める啓発及び支援を行うとともに、地域防災拠点や関係者・関係団体との連携等による災害への備えの強化や、交通安全・防犯対策にも地域と協働で取り組みます。また、グリーン社会の実現に向け「GREEN×EXPO 2027」開催の機運醸成や、一人ひとりの行動変容を促すPRを進めます。

《主な事業》みなみ減災推進事業、脱炭素行動普及啓発事業

4 地域の皆さまとともに歩む区づくり

28,174千円

地域活動に携わる人材の発掘・育成及び自治会町内会の支援に取り組むとともに、外国籍住民等との相互理解を深める取組などを通じて多文化共生のまちづくりを進めます。また、各種広報媒体を通じて区の様々な情報の発信を積極的に行うとともに、区民の皆さまからのご意見を大切にしながら各種施策を進めていきます。

《主な事業》みなみ多文化共生推進事業、地域の力応援事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「防災訓練だけでなく、買い物ついでなど気軽に家族づれで防災のことを知りたい」「外国人が増えている実感があり、理解しようとする姿勢が互いに必要です」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。《主な事業》みなみ減災推進事業、みなみ多文化共生推進事業

令和8年度 港南区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

愛あふれる \heartsuit ふるさと港南に

区の基本目標「愛あふれる \heartsuit ふるさと港南に」とともに、8年度からスタートする第5期港南ひまわりプランの目標「笑顔でくらせるまち」の実現に向け、地域の皆様と共に育んできた「協働による地域づくり」を大切にしながら、組織の垣根を越えて連携し、チーム港南一丸となって「市民目線」で施策を推進します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：106,632千円

1 安全・安心のまちづくり

21,335千円

地域防災力の強化、災害時要援護者支援、食の安全、動物の適正飼育、防犯・交通安全の推進に取り組みます。

《主な事業》災害に強いまちづくり事業、災害時も地域で見守り推進事業、安全安心まちづくり推進事業

2 子育てにやさしいまちづくり

19,618千円

青少年の健全育成、安心して子育てできるための支援、子育て世代にやさしい区役所づくりに取り組みます。

《主な事業》青少年みらい応援事業、地域で子育て応援事業、区役所「ii-BASHO（いい場所）」づくり事業

3 見守り・支えあいのまちづくり

14,024千円

第5期港南ひまわりプランの推進、地域での見守り・支えあい、障害に対する理解促進、自治会町内会活動支援、協働による地域づくりの推進に取り組みます。

《主な事業》地域福祉保健活動推進事業、障害者いきいき生活応援事業、地域カステップアップ事業

4 誰もが元気で健やかに暮らせるまちづくり

16,469千円

誰もが健やかな生活を送ることができる健康づくり、感染症対策における関係機関との連携強化、高齢者が安心して生活できる地域づくり、地域での文化・スポーツの振興に取り組みます。

《主な事業》健康横浜21@こうなん事業、感染症リスクコミュニケーション推進事業、ポジティブシニア応援事業

5 住み続けたいまちづくり

35,186千円

「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成、環境配慮行動の促進、清掃・美化活動の推進、歩行者の安全対策、地域への愛着・ふるさと意識の醸成に取り組みます。

《主な事業》港南区地球温暖化対策推進事業、うるおいのある美しい街づくり事業、歩行者サポート事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「区役所に人が集まる仕組みがない」「室内で子供が遊べる場所が欲しい」「商店街がもっと活性化すれば街自体がもっと楽しくにぎやかになる」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》区役所「ii-BASHO（いい場所）」づくり事業、利用しやすい施設づくり事業、地域カステップアップ事業

令和8年度 保土ケ谷区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を未来へ

『3つの市政方針（財政ビジョン、横浜市中期計画、行政運営の基本方針）』を踏まえ、「創造と転換」による事業の新陳代謝を図りながら、市の基本戦略「子育てしたいまち次世代をともにはぐくむまち ヨコハマ」と、区の基本目標である「いつまでも住み続けたいまち ほどがや」を未来への実現を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：100,481千円

1 子どもから高齢者まで誰もが健やかに暮らせるまちづくり

22,281千円

誰もが住み慣れたまちでいきいきと暮らせるよう、地域と連携した子育て支援や地域資源を生かしたこどもの体験・交流の場の提供、高齢者・障害のある方への支援、スポーツ振興などに取り組みます。《主な事業》ほどがやhappy子育て～妊娠期からの安心サポート～、こどもが主役！地域の魅力体験事業～みんなで育む元気ながやっこ～

2 暮らしの安心・安全の確保

20,483千円

誰もが安心・安全に暮らせるよう、地域防災力の強化や将来の地域防災の担い手育成、災害時の体制強化などの災害対策を推進するほか、地域防犯力の向上、交通安全対策、食の安全などに取り組みます。《主な事業》災害対策推進事業【20万区民の自助・共助による減災運動】、交通安全対策事業

3 つながり・支えあいの推進

18,418千円

地域のつながり・支えあいの推進のため、地域の活動支援や担い手育成に取り組みます。また、保土ケ谷ほっとなまちづくり（地域福祉保健計画）の推進と次期計画の策定準備を進めます。《主な事業》保土ケ谷ほっとなまちづくり推進事業、地域におけるデジタル活用推進事業

4 魅力と賑わいのあるまちづくり

27,063千円

2027年(令和9年)の区制100周年及びGREEN×EXPO 2027に向けて、「ほどがや花憲章」に基づく花の街づくりや、自然や歴史、地域資源を生かした取組を推進し、区の魅力向上と気運醸成を図ります。《主な事業》区制100周年事業、花薫るきれいな街ほどがや事業（GREEN×EXPO2027連携事業）

5 信頼される区役所づくり

12,236千円

区民の皆さまに寄り添ったきめ細かな窓口サービスの充実や、安心して快適に利用することができる区庁舎の環境改善を進めます。また、様々な媒体を活用しながら行政情報を分かりやすく発信します。《主な事業》区役所サービス向上・環境改善事業、広報推進事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「若い方々などの新たなチャレンジを後押しし地域活性化につなげてほしい」「保土ケ谷駅周辺で文化的活動ができるよう充実させてほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》地域の担い手はぐくみ事業、ほどがや文化・芸術の街

令和8年度 旭区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現～GREEN×EXPO 2027を契機とした魅力あるまちづくり～

近年、旭区では、相鉄線の都心直通化等の利便性向上に加え、鶴ヶ峰駅付近連続立体交差事業やGREEN×EXPO 2027を契機とした未来に向けたまちづくりが進んでいます。誰もが安心して暮らせる地域づくりと、GREEN×EXPO 2027の開催を契機とした、区内外への旭区の魅力PRにも積極的に取り組みます。世代を超えて選ばれるまちの実現に向けて、地域の力を活かした取組を推進していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：102,600千円

1 安心・安全

31,615千円

誰もが安心して暮らせる持続可能な地域社会の実現を目指し、地域防災団体及び区役所の災害対応力を向上させ、自助・共助の意識醸成や地域防災力強化をするため、各種防災施策を実施します。また、日常生活における見守りや支え合いの取組を広げ、地域全体の安心・安全を高めます。

《主な事業》災害に強い区づくり事業、地域安全安心普及推進事業、子どもと家庭の安心支援事業

2 暮らし・コミュニティ・地域の力

45,676千円

区民の主体的な地域活動へのスタートアップやフォローアップの支援を進めるとともに、区民ライターを通じた魅力発信等を通して、地域への関心を高め、地域でのつながりや愛着を深めていきます。また、子育て支援や高齢者への施策を充実させ、こどもから高齢者まで誰もが自分らしく暮らせる地域づくりを目指します。

《主な事業》あさひのつながり応援・発信事業、保育所地域子育て支援事業、認知症をみんなでささえるまちづくり事業

3 GREEN×EXPO 2027を契機とした魅力あるまちづくり

16,735千円

GREEN×EXPO 2027を契機に、区民の環境意識向上と主体的な参加・行動変容を促進します。地域資源を活かした取組や多様な主体との連携を通じて、“豊かな自然”と“都市の暮らし”が共存した旭区の魅力を区内外に広く発信し、魅力あるまちづくりを進めます。

《主な事業》GREEN×EXPO 2027参加促進事業

<区民サービスの向上>

8,574千円

正確・迅速・丁寧で親しみやすく、利便性の高いサービスの提供や、庁舎環境の改善など、区民の視点に立った行政サービスを着実に推進していきます。

《主な事業》区役所満足度向上事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

GREEN×EXPO 2027の開催にあわせて「駅等でのPR、イベント実施」「会場外の環境整備」「区内商品や商店振興」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》GREEN×EXPO 2027参加促進事業、街の美化運動事業、あさひ魅力発見事業

令和8年度 磯子区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～皆さまとともにつくる 笑顔あふれるまち・いそご～

令和8年度は、区が地域とともに進める事業・取組の基本である「磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）の第5期計画」が始まる年であり、年度後半には、「区制100周年」がスタートするとともに、「GREEN×EXPO 2027」が開催される重要な年です。その記念すべき年を契機として、磯子区の魅力をさらに高めるため、区民の皆様からいただいたご意見を踏まえ、「誰もが安心して暮らせる、笑顔あふれるまち・いそご」の実現に向けて予算編成を行いました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：95,208千円

1 ともに創り、祝う区制100周年 ～地域の力と魅力にあふれるまち～

56,760千円

令和9年に迎える磯子区制100周年を、区民の皆さまと盛大に祝う記念事業がスタートします。100年の歩みを振り返り、まちを築いてきた方々への感謝を込めて、未来へつなぐまちづくりを進めます。また、多様化する地域課題に対応するため、自治会町内会や商店街、事業者と協力し、地域の活性化を図ります。

さらに、GREEN×EXPO 2027に向け、地域資源を活かした機運醸成や脱炭素の取組を進め、地域の力と魅力にあふれるまちを目指します。

《主な事業》磯子区制100周年記念事業、脱炭素・GREEN×EXPO 2027推進事業、区の魅力創出・発信事業

2 安心・安全なまち

14,042千円

首都直下地震や南海トラフ巨大地震など大規模災害の発生が懸念される中、震災や激甚化・頻発化する風水害に備え、様々な世代や多様な避難者への対応を含めた自助・共助の取組の支援や啓発等により、一人ひとりの備えと地域の絆をさらに浸透させ、地域防災力の向上を図ります。また、地域・学校・警察等と連携した防犯や交通安全対策をより一層強化し、安心・安全なまちづくりを推進します。

《主な事業》地域と一緒に作る防災・減災事業、地域・学校防犯力強化事業

3 子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまち

24,406千円

多様化する子育てニーズを踏まえた育児支援をはじめ、初年度を迎える第5期の磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）に基づく地域の皆さまの活動を支える取組や、地域包括ケアシステムの推進、障害のある方への支援、多文化共生の推進に向けた取組を行うことで、ともに支えあい、子どもから高齢者まで誰もが暮らしやすいまちの実現を目指します。

《主な事業》磯子区地域福祉保健計画（スイッチON磯子）推進事業、子育て応援事業、区民の健康づくり応援事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「地域をめぐるスタンプラリーを行い、地域や環境への興味をもってもらうことができるのではないか」「100周年の際に参加者でつくりあげるような恒例のイベントが始まるとよい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》磯子区制100周年記念事業、磯子まつり事業、子育て応援事業

令和8年度 金沢区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

しあわせ育む 金沢 ～私らしく心地よいまち～

金沢区では、区の基本目標の達成に向けて、地域住民や事業者、大学など多様な主体との協働によるまちづくりを進め、誰もが幸せを育める、心地よいまちを目指します。地域ニーズの把握やデータの利活用、効果検証を踏まえた事業の見直し、財源確保などを進め、効率的・効果的に各事業に取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：99,713千円

- 1 子ども・子育て（子どもが健やかに育ち、地元への愛着心を育むまち） 16,659千円
子ども・若者、養育者及び支援者のご意見を大切にし、子育て・親育ちの施策の充実に取り組み、子ども・若者が地域の中で健やかに育つ環境づくりを進めます。
《主な事業》かなざわっこを共に育む応援プロジェクト、不登校支援「つながるまち」事業、金沢若者ライフデザイン事業
- 2 福祉保健の推進（健やかに住み続けられる支え合いのまち） 10,921千円
第5期ささえあいプランを推進し、高齢者の権利擁護、働き・子育て世代の健康づくり及び障害理解の促進など、誰もが安心して暮らせる地域づくりを進めます。
《主な事業》金沢区地域福祉保健推進事業、終活きっかけづくり事業、ポジティブ・エイジング応援事業、
- 3 暮らしの安心・安全（区民の皆様との協働による安心・安全なまち） 14,443千円
防災・減災対策として、自助・共助の取組の促進や防災教育による次代の担い手育成に取り組むとともに、防犯や交通安全等、暮らしの安全対策の充実を図ります。
《主な事業》金沢防災えんづくり事業、セーフティタウンかなざわ推進事業
- 4 まちの魅力づくり（多様な主体等と連携した、魅力あるまち） 48,584千円
様々な区の資源を活用して総合的な魅力発信プロモーションに取り組み、賑わいづくりや空き家等の活用により、住みたい・住み続けたいまちづくりを進めます。
《主な事業》金沢魅力プロモーション事業、区民や大学の活力を生かした地域支援事業、金沢区制80周年記念事業
- 5 グリーン施策・脱炭素（金沢区の海や緑を活かした環境にやさしいまち） 3,219千円
新たなグリーン社会の実現に向けて、環境にやさしい行動の実践を促すとともに、GREEN×EXPO 2027への開催機運の醸成を図ります。
《主な事業》脱炭素・GREEN×EXPO推進事業、「寄り道×Kanabun」整備事業

○ 区民サービス向上に向けた取組 5,887千円

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「出産・子育てを支援する団体・機関とタイアップした取組により、子育てしやすいまちのイメージアップを図ってほしい。」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》金沢若者ライフデザイン事業

令和8年度 港北区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～活気にあふれ、人が、地域がつながる「ふるさと港北」～

港北区では、新たな中期計画を見据え、区の基本目標「活気にあふれ、人が、地域がつながる『ふるさと港北』」の実現に向けて、18区中最多の人口と出生数であることなどの区の特性を踏まえ、日ごろからの安心・安全を第一に区民の皆様と共にまちづくりを進めます。さらに、令和9年3月に開幕するGREEN×EXPO 2027の成功とその先のグリーン社会の実現を目指し取り組みます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：109,372千円

1 安心・安全なまちづくり

29,534千円

ローリングストックの普及冊子や中学生向けの防災リーフレットを通じて自助・共助の防災意識を高め、家庭での備蓄などの具体的な行動変容を促進します。また、子どもや高齢者まで幅広い世代を対象とした自転車ルール・マナーの啓発や、高齢者向けの防犯啓発を進めることで、区民の皆さまの安心・安全につなげます。

《主な事業》災害に強いまちづくり推進事業、交通安全 無事故でカエル事業、港北AAA（安全で安心な明日を）地域防犯力向上作戦

2 地域で支えあう福祉・保健のまちづくり

25,147千円

身近な場所で子育ての相談や交流ができる「親と子のつどいの広場」の利用促進や、保護者向けの子育て講座等を通じて、安心して子育てのできる環境をつくりまします。さらに、前期高齢者が元気な今からできる準備・情報ガイドによる啓発や、障害理解のイベント等により、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》地域子育てサポート事業、困難な状況にある児童・家庭等への支援事業、高齢者・障害者支え合い推進事業

3 活気にあふれるまちづくり

38,216千円

地域で活動を行う団体と自治会町内会とのマッチングにより、地域及び自治会町内会の活性化を図り、地域のつながりや魅力を実感できる活気にあふれるまちづくりを進めます。また、「港北育苗プロジェクト」等の取組を通じてGREEN×EXPO 2027を区民の皆さまと共に盛り上げ、新たなグリーン社会の実現に向けて一人ひとりの具体的な環境行動につながる取組を推進します。

《主な事業》地域のチカラ応援事業、GREEN×EXPO 2027・脱炭素推進事業、港北オープンガーデン事業

4 区民サービス向上に向けた取組

16,475千円

区民の皆様に施設を快適にご利用いただけるよう、区庁舎及び区民利用施設の環境改善や、Web発券利用促進等の繁忙期の窓口混雑対策に取り組みます。

《主な事業》区民サービス向上・環境改善促進事業、区民利用施設環境改善事業、戸籍課案内サービス向上事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「乳幼児健診などで防災情報や、災害への備えについて情報提供をしてほしい」「自転車の交通マナーについて、周知・啓発をしてほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。《主な事業》災害に強いまちづくり推進事業、交通安全 無事故でカエル事業

令和8年度 緑区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～「次世代につなぐ みんなにやさしいまち」を目指して～

緑区では、市民や社会のニーズに的確に応え、施策・事業の効果を迅速に届けるため、本市が今後策定する「新たな中期計画」と連動した取組を推進します。また、「住みたい・住み続けたいまち」の実現を目指し、区民の皆さまの声に丁寧に寄り添いながら、全てのこども・子育て世代への切れ目のない支援を通じたゆとりの創出や、地域コミュニティが継続できる環境の整備に取り組みます。さらに、GREEN×EXPO 2027の開催とその先を見据え、期待感や高揚感の醸成に努めるとともに、地域や関係団体、企業、大学等と連携し、災害対応力の強化、グリーン社会の実現、デジタル化の推進などを通じて、区民の皆さまに一層信頼される区政運営を進めます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：97,378千円

1 安心・安全なまち 16,555千円

地震や風水害への対策に加え、防災関係機関との連携を強化し、区民と協働して災害に強いまちづくりを推進します。あわせて、安心・安全に暮らせる地域を実現するため、自主的な防犯活動の支援、交通安全に向けた啓発活動、食中毒や感染症の予防など、暮らしの安全対策に引き続き取り組みます。

《主な事業》災害に強いまちづくり事業、暮らしの衛生推進事業

2 いきいき暮らせるまち 24,331千円

こどもや子育て世帯、青少年、高齢者、障害者など、誰もが安心して暮らし続けられるよう、共に支え合い、つながりのあるまちづくりを進めます。あわせて、健康づくりや健康寿命の延伸に向けた取組を推進します。

《主な事業》あんしん子育てネットワーク事業、共に支えあう福祉保健の地域づくり事業、高齢者生きがい推進事業、障害理解促進事業

3 魅力あふれるまち 56,492千円

GREEN×EXPO 2027の開催を契機に、新たなグリーン社会の実現を目指すとともに、緑区の魅力である自然、農、歴史、街並みなどを広く発信し、「住みたい、住み続けたい」と思えるような効果的なプロモーションを行います。さらに、魅力ある公園づくりや花植え、清掃活動などによる良好な地域環境の形成を進めるとともに、地域の人材発掘・育成や地域課題の解決に取り組む活動への支援を強化し、地域コミュニティの活性化を図ります。

《主な事業》魅力ある公園づくり事業、みどり脱炭素推進事業、読書活動推進事業、市民活動パワーアップ支援事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「GREEN×EXPO 2027のPRが増える中、緑区が美しく整備されていることは住民として誇らしい。全国や海外からの来訪者を迎えるためにも、公園清掃や花植え活動など、地域の環境活動が広がることを期待している」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》きれいなまちづくり事業、花と緑あふれる緑区事業

令和8年度 青葉区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～「住みつづきたい・住みたいまち 青葉」であり続けるために～

青葉区では、人口減少や高齢化の課題に対し、区民の皆様暮らしやすさやまちへの愛着をさらに感じていただくとともに、区外の方にとっても魅力的で選ばれるまちづくりを進めることで、活力を維持していく必要があります。このことを踏まえ、区民の皆様から寄せられた意見を取り入れながら予算を編成しました。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：104,934千円

＜市民生活の安心・安全＞

- | | | |
|---|-------------------------------------------------------------------------|----------|
| 1 | 安心・安全に暮らせる持続可能なまち | 16,154千円 |
| | 災害に強く、防犯力の高い、将来の世代にわたって誰もが暮らしやすく安心して安全なまちづくりを進めます。 | |
| | 《主な事業》青葉区防災の街づくり事業、地域防犯支援事業 | |
| 2 | 誰もが健康で自分らしく、いきいきと活躍できるまち | 11,115千円 |
| | eスポーツを活用した社会参加の促進や障害者ふれあい事業の拡充を通じて、誰もが健康で自分らしく活躍し、つながり・支え合う地域づくりを推進します。 | |
| | 《主な事業》地域包括ケアシステムの推進、障害者ふれあい事業 | |

＜青葉区の持続的な成長・発展＞

- | | | |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|
| 3 | 魅力的でいつまでも愛着を持って暮らせるまち | 63,077千円 |
| | GREEN×EXPO 2027 を見据え、花・緑・農など青葉区が誇る特色や資源を生かした取組を進めます。また、将来に向けたまちづくりを検討し、地域の魅力を高め、いつまでも愛着を持って暮らせるまちを目指します。 | |
| | 《主な事業》青葉魅力向上事業、脱炭素化促進事業、広報・広聴事業 | |
| 4 | 安心して出産や育児ができ、子どもたちの未来を創るまち | 14,588千円 |
| | 誰もが安心して出産や子育てができ、未来を創る子どもたちが社会との関わりの中で健やかに成長できる環境づくりを推進します。 | |
| | 《主な事業》子育て支援事業、児童虐待・DV対策事業 | |

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「駅の近くに子どもが広々と遊べるような屋内施設が欲しい」、「緑については、自分は公園の多さで引っ越してきたので是非このままにしてほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》子育て支援事業、広報・広聴事業

令和8年度 都筑区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまち、ふるさと都筑～

都筑区では、新たな中期計画の基本的方向で掲げている「市民生活の安心・安全×横浜の持続的な成長・発展」を踏まえながら、区民の皆様のニーズに的確に応じていけるよう編成を進めました。15歳未満の人口比率が市内で最も高く、豊かな自然が身近にあることなどの地域特性や、GREEN×EXPO 2027のスタートの年度であることなども踏まえながら、多様な主体との協働・共創により、「「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまち、ふるさと都筑」を実現していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：99,651千円

1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

49,371千円

妊娠期から学齢期まで切れ目のない子育て支援策に加え、新たにこどもたちの健やかな育ちを支える地域づくりの取組を展開することで、誰もが安心して子育てでき、またこども自身がのびのびと成長できる環境づくりを進め、DEI(多様性、公平性、包括性)の視点も入れながら、あらゆる世代が住み続けたいと思うまちを実現します。《主な事業》妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業、こどもたちの健やかな育ちを支える地域づくり事業

2 誰もが安心・安全に暮らせるまち

24,193千円

地域の防犯意識向上に向けた取組をさらに推進するとともに、自転車交通ルールの罰則強化等を踏まえ、引き続き生活に身近な交通安全の啓発を推進します。また、震災や風水害への備えとして、各種訓練や関係団体との連携強化など、自助・共助の取組を支援し、地域防災力の向上を図るとともに、地域のニーズに応じた在宅避難に備えた取組や地域防災拠点の環境整備を推進します。《主な事業》安心・安全なまちづくり事業、危機管理対策推進事業、災害にそなえる自助・共助の推進事業

3 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

19,284千円

様々な地域活動団体との協働・共創により、活気あふれるまちづくりを推進するための取組を進めます。多様な文化・芸術活動の振興や、古くから続く伝統芸能等の普及や継承、多文化共生の取組を進めます。また、活発なスポーツ活動の推進や体験機会の創出に取り組みます。さらに、商店街やものづくり企業、区内農家等と連携し、区の魅力を活かしたまちづくりを推進します。《主な事業》多様性にあふれるまちづくり推進事業(DEI推進事業)、メイドインつづき推進事業

4 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

6,803千円

「GREEN×EXPO 2027」を身近に感じてもらい、来場していただけるよう、地域との連携によるまちなかでのGREEN×EXPO 2027に触れる機会の創出や、来場につながる具体的な情報を発信していきます。また引き続きプラスチック資源をはじめとする資源とごみの分別啓発や、脱炭素行動の実践を促すイベント等の開催を通して、サーキュラーエコノミー(循環経済)の推進、グリーン社会の実現を目指します。《主な事業》環境にやさしいまち推進事業、みんなで花と緑のまちづくり事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「意欲のある地域の団体の支援などを通じて、子どもの居場所を作ってほしい。」「子どもの意見を取り入れた居場所を作ってほしい。」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》こどもたちの健やかな育ちを支える地域づくり事業

令和8年度 戸塚区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～こころ豊かに つながる笑顔 元気なとつか～

区民の皆様が安心・安全を基本に、自分らしくいきいきと暮らすことのできる「住みたい、住み続けたいまち」を目指します。データ活用による「区民目線の経営サイクル（PDCA）」のもと、人と人とのつながりを大切に、子育て支援などの福祉保健分野をはじめ、地域の多岐にわたる活動を支援するとともに、防災・防犯に全力で取り組み、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：104,223千円

1 人と人がつながるまちづくり

19,224千円

地域の課題解決や地域コミュニティの活性化のため、地域や企業などと連携し、人や地域のつながりを深め、とつかへの愛着を育むまちづくりを進めます。

《主な事業》区民活動支援事業、戸塚区民まつり事業、自治会町内会連絡調整事業

2 安心・安全を実感できるまちづくり

27,890千円

自助・共助を基本に公助の取組を一体的に進めることで地域の防災活動を支援します。特殊詐欺の防止啓発や防犯活動支援により、地域の安心・安全につなげます。

《主な事業》「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業、防犯力強化事業

3 誰もが自分らしく健やかに暮らせるまちづくり

30,740千円

第5期戸塚区地域福祉保健計画を推進し、子育て支援・幅広い世代の健康づくり・高齢者や障害者等の見守りで誰もが安心して生活できる地域づくりを進めます。

《主な事業》とつかハートプラン（戸塚区地域福祉保健計画）推進事業、子育て応援事業、とつか健康パワーアップ事業

4 地域の特色や資源を生かした魅力的なまちづくり

19,100千円

柏尾川桜並木を始め、自然・歴史・文化・スポーツ・ものづくりなど戸塚の魅力を高める取組を進めます。また、GREEN×EXPO 2027の成功に向け期待感を醸成します。

《主な事業》柏尾川桜並木保全・再生事業、とつか音楽の街づくり事業、とつかものづくり・商店街支援事業

5 区民に信頼され親しまれる区役所づくり

7,269千円

区役所のり・デザインに基づき、区民の皆様に寄り添った窓口サービスの向上に取り組みます。また、様々な媒体を活用して行政情報を分かりやすく発信します。

《主な事業》身近で親しみのある区役所づくり事業、区民に身近な広聴・効果的で分かりやすい広報事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「防災訓練に「避難所運営シミュレーション」を導入。ただの「避難」だけでなく、「避難後の生活」「トラブル対応」を含んだ実際の混乱を想定した訓練を行って欲しい。」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》「災害に強いまちとつか」に向けた防災・減災強化事業

令和8年度 栄区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

未来を育む 住みたい・住み続けたいまち さかえ ～人がつながり 地域がつながる～

栄区では、地域の皆様の声を丁寧に伺いながら、令和8年に迎える区制40周年や、翌年のGREEN×EXPO 2027を契機に、自然豊かで区民の多様な活動が盛んな栄区の魅力を一層高め、誰もが安心して自分らしくいきいきと暮らし、人とのつながりや愛着を感じられる、住みたい・住み続けたいまちを目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：98,976千円

- | | | |
|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 1 | 日々の備えと対策で、災害に強く安全なまち | 13,020千円 |
| | 災害に強い人・地域づくりを推進するとともに、交通安全対策の促進や地域防犯力の向上など、誰もが安全に暮らせる環境づくりに取り組みます。
《主な事業》さかえのそなえ・地域防災力強化事業、地域の安全対策事業 | |
| 2 | こどもから高齢者まで、誰もがいきいきと生活できるまち | 21,118千円 |
| | 安心して出産・子育てができ、こどもから高齢者、障害児・者など誰もが生きがいや役割を持ち、健康でいきいきと生活できる取組を進めます。
《主な事業》子育て家庭支援事業、高齢者のICT利活用支援事業、障害児・者ふれあい交流事業 | |
| 3 | 誰もが自分らしく活躍し、地域で共に支えあうまち | 18,373千円 |
| | 誰もが自分らしく活躍できる地域社会の実現を目指すとともに、自治会町内会など地域で活動する団体が主体となって、つながり・支えあう地域づくりを進めます。
《主な事業》地域福祉保健計画推進事業、自治会町内会活動推進事業、区民主体の地域運営事業 | |
| 4 | 地域の特色を生かし、住みたい・住み続けたいと感じるまち | 36,724千円 |
| | スポーツ・文化や区制40周年記念事業等を通じて地域への愛着やつながりを深め、栄区の魅力を生かし住みたい・住み続けたいと感じるまちづくりを進めます。
《主な事業》区制40周年記念事業、まちづくり推進事業 | |
| 5 | 環境と共生し、魅力ある豊かな緑を守り育てるまち | 9,741千円 |
| | GREEN×EXPO 2027を契機として環境への意識が高まり行動変容につながるとともに、栄区の豊かな緑を守り育てる取組を進めます。
《主な事業》GREEN×EXPO 2027プロモーションによるさかえの魅力向上事業、花と森と川のまち推進事業 | |

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「発災前の備えに取り組みやすくするよう、防災へのハードルを下げ、子どもと一緒に考えられるとよい」、「栄区の大きな魅力である、いたち川を使ったイベントを実施してほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》さかえのそなえ・地域防災力強化事業、花と森と川のまち推進事業

令和8年度 泉区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～ 泉に咲く 笑顔と絆 未来へと ～

泉区は、令和8年度に区制40周年という大きな節目を迎えます。泉区が掲げる基本目標を念頭に、これまで築いてきた絆を大切に、未来への期待感が高まる取組に繋がります。また、泉区への愛着が高まる取組を進め、盛り上がりそのままにGREEN×EXPO 2027の機運醸成につなげてまいります。さらに、新たな中期計画を踏まえ、様々な手段で区民ニーズを的確に捉え、「市民目線」での柔軟な発想と手法で、子育て世代をはじめ、あらゆる世代の区民の皆様から共感・納得いただける施策を展開していきます。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費（自主企画事業費）】

合計：97,092千円

1 にぎわいの創出と発信による魅力づくり

29,473千円

泉区ならではの魅力を区内外の方々に実感していただき、泉区への愛着心を高めるシティプロモーションを行うとともに、都市計画マスタープランの区別計画の検討を進め、農や伝統文化、深谷通信所跡地等の地域特性を生かしたまちづくりを進めます。区制40周年に際し、地域の絆の深化や賑わい創出を行い、定住につなげます。

《主な事業》定住・転入促進事業、まちづくり推進事業、区制40周年記念事業

2 区民の皆様とともに育む持続可能な地域づくり

22,874千円

持続可能な地域活動が行われるよう、地域活動団体や自治会町内会を支援するとともに、担い手不足の解消や新たな担い手の発掘に向け、様々な世代の参加を促進します。また、GREEN×EXPO 2027の開催機運醸成とあわせて、身近に取り組める脱炭素化行動の啓発を推進します。

《主な事業》地域力支援事業、自治会町内会振興事業、脱炭素化推進事業

3 安全・安心のまちづくり

25,180千円

横浜市地震防災戦略や横浜市防犯のまちづくり推進プラン(仮称)を踏まえ、地域における自助・共助の取組を推進し、公助の取組と機能的につなげることにより、区内の災害対応力の向上、地域の防犯対策や交通安全対策の強化に取り組み、安全に安心して暮らせるまちづくりを進めます。

《主な事業》防災対策事業、防犯対策推進事業、交通安全対策推進事業

4 あらゆる世代がいきいきと暮らせるつながりづくり

19,565千円

地域の支え合いによって、誰もが安心して暮らせるまちをつくるため、「泉わくわくプラン（第5期泉区地域福祉保健計画）」や「泉区アクションプラン」を推進します。また、「子育てに優しいまち泉区」の実現に向け、妊娠期から子育て期まで切れ目のない、孤立しない支援の充実を図ります。

《主な事業》泉わくわくプラン推進事業、泉区地域包括ケア推進事業、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援充実事業

★ デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「もっと子育て支援施設を充実させてほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。

《主な事業》いずみっこ子育て支援事業

令和8年度 瀬谷区編成予算(自主企画事業) 事業概要

予算編成の考え方

～幸せが実感できる瀬谷づくり～

瀬谷区は8年度末に開幕するGREEN×EXPO 2027の開催地元区であり、区民の皆様の日常生活の場である「瀬谷」と、世界的ビッグイベントの会場としての「瀬谷」を両立させることが重要です。区民の皆様が心待ちに開幕を迎えられるよう、地域の皆様と協力して機運醸成や参加意向の向上に取り組むとともに、安心・安全の確保に向け、災害対策や防犯対策に引き続き注力します。また、地域課題の解決や、子育て支援、高齢者・障害者支援など、区民目線で瀬谷区の実情に即した取組を進め、職員一丸となって「信頼される区役所」や「幸せが実感できる瀬谷づくり」の実現を目指します。

予算の体系

【個性ある区づくり推進費(自主企画事業費)】

合計：94,177千円

1 安心・安全の住みやすいまち

20,544千円

地域の防災力向上に向け、課題である20～30歳代の防災意識を高めるため、親子対象の啓発プログラムを新たに実施します。また、循環型社会の実現に向け、子どもから大人まで楽しめる環境体験型イベントを開催し、GREEN×EXPO 2027開催後の行動変容につなげます。 《主な事業》災害等対策事業、環境行動推進事業

2 健やかな成長・誰もが健康で自分らしい生活

19,801千円

思春期の心と体の悩みなど相談先がわからず孤立することがないように、相談先等を記載した啓発資材を高校生とともに作成します。また、「親なきあと」も障害者自身が地域で生活を続けられるよう1人暮らし体験事業を拡充し、支援環境や仕組みづくりを進めます。 《主な事業》健やか瀬谷っ子事業、障害者地域生活支援事業

3 地域のつながり・支え合い

17,985千円

第5期瀬谷区地域福祉保健計画の推進に向け、課題である現役世代の認知度向上を図るために駅頭広告等のプロモーションを実施します。また、地域の活性化に向け、区民活動を多角的にサポートします。 《主な事業》地域福祉保健計画推進事業、区民活動支援事業

4 賑わいと魅力の創出・GREEN×EXPO 2027への参加促進とまちの盛り上げ

30,769千円

GREEN×EXPO 2027の機運醸成や参加促進に向けたプロモーションを行います。区民の皆様や地域の企業・団体、学校等とともに、カウントダウンイベントや道路の植栽ますへの花植え活動などを行い、区全体で盛り上げていきます。 《主な事業》GREEN×EXPO 2027機運醸成・プロモーション事業、瀬谷の魅力発信・愛着実感事業

5 親しみやすく信頼される区役所

5,078千円

DXによる窓口業務の利便性の向上や広報・広聴の充実、フロア案内ボランティアの活動等を通じて、サービスや業務の質の向上を図ります。

《主な事業》窓口サービス向上事業、広報・広聴連携事業

★デジタルプラットフォームでいただいた意見を参考にした事業

「駅からGREEN×EXPO 2027が始まっていることを感じさせるような工夫がほしい」といったご意見をいただきました。いただいたアイデアを施策の参考にさせていただきました。 《主な事業》GREEN×EXPO 2027機運醸成・プロモーション事業